

IBM Multi-Cloud Data Encryption  
Powered by SPx<sup>®</sup>  
バージョン 2.3

*REST API* 仕様



## 注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、[189 ページの『特記事項』](#)に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM Multi-Cloud Data Encryption (プロダクト番号 5737-C67) バージョン 2.3、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

© Copyright IBM Corporation and others 2017, 2019

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

### 原典：

GI13-4922-00  
IBM Multi-Cloud Data Encryption  
Powered by SPx®  
Version 2.3  
REST API Specification

### 発行：

日本アイ・ビー・エム株式会社

### 担当：

トランスレーション・サービス・センター

© Copyright International Business Machines Corporation .

# 目次

<b>第 1 章概要</b>	<b>1</b>
<b>第 2 章基本的な要件</b>	<b>3</b>
アプリケーション層プロトコル	3
バージョン	3
サポートされるメソッド	3
接続のセキュリティー	3
暗号化	3
ユーザー認証	3
クロスサイト・リクエスト・フォージェリー (CSRF) 保護	4
ペイロード形式	4
URL、URL パターン、リソース指向、その他のトピック	4
リソース指向	4
ジョブの処理	5
<b>第 3 章基本のリソース・タイプ</b>	<b>7</b>
プリミティブ	7
コレクション	7
スキーマ	7
例	7
<b>第 4 章応答状況コード</b>	<b>9</b>
<b>第 5 章ログ・リソース</b>	<b>11</b>
/logs	11
GET	11
/logs/events/	12
GET	12
/logs/events/{sequence_number}	14
GET	14
/logs/debug/	15
GET	15
/logs/debug/{log_id}	16
GET	16
/logs/recipients	17
GET	17
POST	18
/logs/recipients/{id}	19
GET	19
DELETE	19
PATCH	20
PUT	21
<b>第 6 章ジョブ</b>	<b>23</b>
/jobs	23
GET	23
/jobs/schedules	24
GET	24
POST	25
/jobs/schedules/{id}	31

GET.....	31
PATCH.....	32
PUT.....	33
/jobs/schedulers.....	34
GET.....	34
/jobs/schedulers/{id}.....	37
GET.....	37
PATCH.....	39
PUT.....	39
/jobs/schedulers/{id}/actions.....	41
GET.....	41
POST.....	42
/jobs/history[r].....	43
GET.....	43
/jobs/history/{id}.....	44
GET.....	44

## 第 7 章ポリシー・リソース..... 47

/pathsets.....	47
GET.....	47
POST.....	48
/pathsets/{id}.....	49
GET.....	49
DELETE .....	50
PATCH.....	51
PUT.....	52
/processes.....	53
GET.....	53
POST.....	55
/processes/{id}.....	56
GET.....	56
DELETE .....	57
PATCH.....	58
PUT.....	59
/selectors.....	60
GET.....	60
POST.....	62
/selectors/{id}.....	63
GET.....	63
DELETE .....	64
PATCH.....	65
PUT.....	66
/keys.....	67
GET.....	67
POST.....	68
/keys/{id}.....	69
GET.....	69
PATCH.....	70
PUT.....	71
/groupscopes.....	72
GET.....	72
/groupscopes/{name}.....	73
GET.....	73
PATCH.....	74
PUT.....	75
/groupsets.....	76
GET.....	76

POST.....	77
/groupsets/{id}.....	78
GET.....	78
DELETE .....	79
/datatypes.....	80
GET.....	80
POST.....	83
/datatypes/{id}.....	84
GET.....	84
DELETE .....	85
PATCH.....	85
PUT.....	86

## 第 8 章管理対象エージェント..... 89

/agents.....	89
GET.....	89
POST.....	94
/agents/{id}.....	96
GET.....	96
DELETE .....	97
PATCH.....	98
/agents/{id}/certificates.....	99
GET.....	99
POST.....	100
/agents/{id}/certificates/{certid}.....	101
GET.....	101
DELETE .....	102
PATCH.....	102
PUT.....	103
/agents/{id}/install_bundle.....	104
GET.....	104
/agents/{id}/install_bundle/authorized_users.....	105
GET.....	105
PUT.....	106
/agents/{id}/policy_snapshots.....	107
GET.....	107
POST.....	108
/agents/{id}/policy_snapshots/{snapshot_id}.....	109
GET.....	109
PUT.....	110
DELETE .....	111
/agents/{id}/policy.....	112
GET.....	112
POST.....	114
/agents/{id}/policy/{binding_id}.....	115
GET.....	115
PUT.....	116
PATCH.....	117
DELETE .....	118
/agents/{id}/policy/{binding_id}/storage.....	119
GET.....	119
PUT.....	120
PATCH.....	121
/agents/{id}/features.....	122
GET.....	122
/agents/{id}/features/{feature}.....	123
GET.....	123

PUT.....	123
PATCH.....	124
/agents/{id}/tools.....	125
GET.....	125
POST.....	126
<b>/agents/{id}/tools/{tool_id}.....</b>	<b>127</b>
GET.....	127
PUT.....	128
PATCH.....	130
DELETE .....	131
<b>/agents/{id}/object_store.....</b>	<b>132</b>
GET.....	132
PUT.....	134
PATCH.....	136
/agents/{id}/object_store/credentials.....	137
/agents/{id}/object_store/buckets.....	138
/agents/{id}/object_store/buckets/<bid>/policy.....	141
/agents/{id}/policy/<pid>.....	143
<b>第 9 章ユーザー・アカウント.....</b>	<b>145</b>
/users.....	145
GET.....	145
POST.....	146
/users/{username}.....	147
GET.....	147
DELETE .....	148
PATCH.....	148
PUT.....	149
/roles.....	150
GET.....	150
/roles/{id}.....	152
GET.....	152
/sessions.....	153
GET.....	153
POST.....	154
/sessions/{id}.....	155
GET.....	155
DELETE .....	156
<b>第 10 章サーバー設定.....</b>	<b>157</b>
/settings.....	157
GET.....	157
/settings/directories.....	158
GET.....	158
POST.....	159
/settings/directories/{id}.....	160
GET.....	160
DELETE .....	161
PUT.....	161
/settings/keystores.....	162
GET.....	162
POST.....	164
/settings/keystores/{id}.....	165
GET.....	165
PUT.....	166
PATCH.....	167
DELETE .....	168

<b>第 11 章ファイルのアーカイブとアップロード .....</b>	<b>171</b>
/files.....	171
GET.....	171
/files/upload.....	172
GET.....	172
POST.....	173
/files/upload/{id}.....	173
GET.....	174
DELETE .....	174
<b>第 12 章拡張プロパティ .....</b>	<b>177</b>
/properties.....	177
GET.....	177
/properties/{key}.....	178
GET.....	178
PATCH.....	179
<b>第 13 章セットアップと構成に関する問題.....</b>	<b>181</b>
セットアップと構成に関する問題.....	181
/issues.....	181
/issues/{id}.....	182
<b>第 14 章グローバル化・リソース.....</b>	<b>185</b>
/locales.....	185
GET.....	185
/locales/{id}.....	186
GET.....	186
/strings.....	187
GET.....	187
/strings/{id}.....	188
GET.....	188
<b>特記事項.....</b>	<b>189</b>
商標.....	190
製品資料に関するご使用条件.....	191
プライバシー・ポリシーに関する考慮事項.....	191





---

# 第 1 章 概要

この仕様は、MDE 製品用の REST API の要件とアーキテクチャーを示しています。

このドキュメントは、REST API の一般的な概念に精通していることが前提となっており、MDE に対して行われるアーキテクチャー上の選択を明確にすることを目的とします。



---

## 第 2 章 基本的な要件

### アプリケーション層プロトコル

---

#### バージョン

MDE REST API は、主流の業界慣例に従って HTTP 1.1 で処理するように設計されています。

#### サポートされるメソッド

REST API では、次の要求メソッドがサポートされます。

- GET
- PUT
- PATCH (HTTP 定義ではない。 <https://tools.ietf.org/html/rfc5789> を参照)
- POST
- DELETE

他のすべての要求メソッドに対しては、HTTP 405 (未実装) 状況コードで応答が返されます。

### 接続のセキュリティ

---

#### 暗号化

REST API は TLS 1.2+ のセキュア接続でのみ公開されます。暗号スイート、アルゴリズム、およびその他のパラメーターは、NIST sp800-131a および FIPS 140-2 のガイドラインの元で承認されるものに制限されます。

#### ユーザー認証

REST API ではログインが必要です。2 つの認証方式がサポートされます。

1. **セッション認証:** セッション Cookie およびその他のヘッダー (CSRF トークンなど) を使用して Web UI に公開され、以降の要求で参照される、フォーム認証方式を利用したセッション認証が許可されます。これは主に、Web UI によってその独自の機能に REST API を利用できるようにするため、および開発時にブラウザー・ベースのテストを実行できるようにするために行われます。これを実稼働の非ブラウザー・クライアントで試行および無効にすることに対する既知の理由はありませんが、お客様のスクリプトでこの方式を使用することは想定されていません。

認証セッションを開始 (ログイン) するには、POST 要求 (有効な CSRF トークンを含む) をセッション・リソースに送信します。同様に、そのセッションを終了 (ログアウト) するには、DELETE 要求 (有効な CSRF トークンを含む) を、現在ログインしているセッションの特定のセッション・リソースに送信します。詳細については、セッションのリソース・セッションを参照してください。

##### 1. HTTP 基本認証 (BA)

IETF RFC 1945 セクション 11.1 に、以下のただし書きとともに説明されているように、REST API は基本アクセス認証スキームを部分的にサポートしています。

- 無許可の要求に対する応答では、認証チャレンジ (WWW 認証ヘッダー) は提供されない。
- 資格情報はいずれの期間もキャッシュされない。

- HTTP セッションは保管も開始もされない。

つまり、REST API は、その単一要求の期間に認証アクセスを許可する、指定されたフォームの許可ヘッダーを受け入れます。後続の要求は常にそのヘッダーを提供する必要があるため、最初に認証チャレンジを受け取った後のみヘッダーの使用を開始することを期待しているクライアントは、適切に機能しません。

クロスサイト・リクエスト・フォージェリー保護 (次のセクションで説明) は、基本認証要求にはアクティブになりません。

## クロスサイト・リクエスト・フォージェリー (CSRF) 保護

セッション認証 を使用して行われる REST API 要求は CSRF 攻撃から保護される必要があります。具体的には、以下が MDE によって実装されてセッション認証要求に適用されます。

- PATCH 要求、PUT 要求、POST 要求、および DELETE 要求は CSRF 保護の要求であると見なされ、有効な CSRF トークンが付随する必要があります。
- 2つのトークンがアクティブ・セッションに保持されます。どちらのトークンも使用できますが、可能な限り、最新のものをクライアントが送信する必要があります (古いほうのトークンは、特定の競合状態で失敗を回避するためにのみ保持されます)。
- サポートされるすべての要求に対して、現在有効なトークンが Csrf-Token という名前の Cookie としてクライアントに渡されます。
- 有効なトークンが、CSRF 保護の要求の X-Csrf-Token ヘッダーで渡される必要があります。
- 所定のセッションを使用して行われた CSRF 保護のすべての要求で、要求が検証にパスしたかどうかに関係なく、セッション CSRF トークンがローテーションされます。最新のトークンがサーバー応答ヘッダーに設定されます。
- 無効なトークンを渡す要求は、HTTP 状況コード 400 と、原因が CSRF トークン障害であることを示すテキストが設定された警告ヘッダーで拒否されます。
- CSRF トークンは、使用できる最もセキュアな乱数発生ルーチンによってランダムに生成される、256 ビット BASE64 エンコード値です。

## ペイロード形式

この仕様内の定義されたサブリソースで特に示されていない限り、すべてのリソースが application/json コンテンツ・タイプで表されています。別のコンテンツ・タイプをサポートするリソースまたは別のコンテンツ・タイプを必要とするリソースの場合、REST API では HTTP Accept ヘッダーが設定されている必要があります。その他の要求されたコンテンツ・タイプは、空の応答本文と 415 サポートされないメディア・タイプ状況コードで応答します。

## URL、URL パターン、リソース指向、その他のトピック

### リソース指向

REST API は高度にリソース指向です。特に記載がない限り、以下の原則に従います。

- HTTP メソッド GET、PUT、POST、および DELETE は、リソースの読み取り、更新、作成、および削除に関連します。
- 同じ URL に対して行われる GET 要求と PUT 要求の本文は、PUT 要求で要求されるフィールド更新を除き、構文および構造が同じである必要があります。
- ほとんどの場合、POST 要求は配列リソースに対してのみ有効であり、特定の API で定義されていない限り、その本文が配列リソースの他の要素と同じタイプ (言語定義か API 定義かに関係なく) である必要があります。
- 製品構成のすべての変更が GET-Update-PUT パターンに従っている必要があります。つまり、クライアントは、リソース/設定を指定した URL に対して GET 要求を実行し、GET 応答テキストで必要な値を更

新し、更新された応答テキストを元の URL への対応する PUT 要求の本文として使用できる必要があります。

- URL および返されるオブジェクト内の階層が相互にフォローしている必要があります。つまり、以下のようになっている必要があります。
  - URL にスラッシュ (/) とフィールド名を追加することにより、オブジェクト・フィールドに URL で直接アクセスできる必要があります。

例: /rest/resource が {"id": 1, "name": "myResourceNumber1"} を返す場合、/rest/resource/name が "myResourceNumber1" を返す必要があります。

- URL にスラッシュ (/) と必要な要素の id フィールドの値を追加することにより、配列の要素に URL で直接アクセスできる必要があります。

例: /rest/resources が [{"id": 1}, {"id": 2}] を返す場合、/rest/resources/1 が {"id": 1} を返す必要があります。

注: id フィールドが定義されており「id」という名前でない場合があります。

- 配列リソースでは URL に複数ネーミングを使用する必要があります。

例えば、ユーザーを返す配列リソースが /rest/user に対応する場合があります。

- REST API リソース階層へのモジュール実装のリークを防ぐため、URL のカテゴリー化は避ける必要があります。

例えば、/rest/user でその他のユーザー関連リソースが検出される場合でも、/rest/user/list よりも /rest/users が望ましいです。

## ジョブの処理

REST API 要求は、長期実行の場合も短期実行の場合もあります。長期実行が見込まれる REST API の PUT、POST、または DELETE では、サーバー・サイドのタスク/スレッドが任意に作成され、以下のように応答が行われる可能性があります。

- 状況チェック用の、GET 要求を受け入れる URL に設定された Location ヘッダー
- 状況コード 202 (Accepted)
- 応答本文オプション

Location ヘッダーで示された URL で定義されているジョブ・リソースは、PUT 要求も POST 要求も受け入れません。DELETE 要求は、ジョブの状態に応じて、ジョブのキャンセルまたは実行後ジョブ・レコードの削除として解釈されます。すべてのジョブ・リソースはアプリケーションに関して揮発性であり、アプリケーションの再起動後に保持されません。



---

## 第3章 基本のリソース・タイプ

---

### プリミティブ

プリミティブ型のセットは、JSON 言語仕様で使用可能なプリミティブ型のセットと整合します。

---

### コレクション

#### スキーマ

コレクションは、リスト、セット、およびその他のタイプの配列です。コレクション内の項目は、構文によって明示的に示されるのではなく、REST サーバーによって適用されている順序 (リスト) または固有性 (セット) の制約を含め、応答内に配列として表されます。

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "items": { ... }
  "uniqueItems": true
}
```

#### 例

コレクションは、以下のような配列構造で表されます。

```
[
  {
    "type": "user",
    "id": "4"
  },
  {
    "type": "user",
    "id": "5"
  },
  {
    "type": "user",
    "id": "8"
  }
]
```





## 第 4 章 応答状況コード

コード	メッセージ	記述
200	OK	要求が正常に行われました。報告されたコンテンツが応答本文に表示されます。
201	作成	新規リソースが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーは、作成されたリソースの URL に設定されます。
202	同意済み	同期的に処理する場合は、応答が許容できないほど遅延します。要求を処理するためにジョブが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーはジョブの URL に設定されます。
204	コンテンツなし	要求が正常に行われましたが、応答にコンテンツは必要ありません。これは、ほとんどの場合、DELETE 要求で返されますが、縮退 PUT 要求および PATCH 要求の場合にも使用されることがあります。
205	コンテンツのリセット	要求が正常に行われました。プロパティの変更のために、ターゲット・リソースのクライアント・サイド・モデルをリセットする必要があります。これは、ほとんどの場合、PUT 要求および PATCH 要求で返されます。
400	Bad Request	要求内のエラーのために要求を処理できませんでした。
401	無許可	要求が認証されていません。
403	Forbidden	要求が認証されていますが、ユーザーは要求された操作を実行することを許可されていません。
404	Not Found	要求されたリソースが存在しません。また、これまでに存在したリソースのレコードがサーバーに保持されていません。
405	メソッドが許可されません	ターゲット・リソースに対して HTTP メソッドが無効です。
406	許容できません	<b>Accept</b> ヘッダーで要求されたコンテンツ・タイプはサポートされていません。現在、受け入れられているタイプは application/json のみです。

409	競合	<p>要求メソッドによって異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• POST – 同じ ID のリソースが既に存在します。変更のために、親リソースがロックされています。</li> <li>• PATCH / PUT – ID フィールドが変更されており、新規 ID フィールドが既に使用されている別の ID と同じです。更新対象のリソースが、この要求を無効化する方法で、別の要求によって更新されました。変更のために、リソースがロックされています。</li> <li>• DELETE – 変更のために、リソースがロックされています。</li> </ul>
410	終了	要求された ID を持つリソースは、以前に存在したことが分かっていますが、削除されています。
424	Failed Dependency	要求された変更は、現在満たされていない別のリソース状態に依存します。
428	Precondition Required	1 つ以上の他の要求が送信されて関連する別の状態が変更されるまで、要求を処理できません。
500	内部サーバー・エラー	特定の失敗コードがそれ以上ない、内部サーバー・エラーのフォールバック。 <b>Warning</b> ヘッダーに、エラー・レポートのファイリング時に報告された情報が含まれます。
503	サービス使用不可	要求を実行するために必要な内部サービスが使用できませんでした。 <b>Warning</b> ヘッダーに、エラー・レポートのファイリング時に報告された情報が含まれます。

# 第 5 章 ログ・リソース

## /logs

すべての既知のログの収集

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に子ログへの参照のコレクションが含まれます。参照にはログ・エントリー自体は含まれません。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 2,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": ["type", "id", "href" ],
      "additionalProperties": true,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "ref" ] },
        "id": { "enum": [ "events", "debug", "recipients" ] },
        "href": "string"
      }
    }
  ]
}
```

#### 例

```
Request: GET /logs

Response: 200 OK

[
```

```

{
  "type": "ref",
  "id": "event",
  "href": "/rest/logs/events",
},
{
  "type": "ref",
  "id": "debug",
  "href": "/rest/logs/debug",
},
{
  "type": "ref",
  "id": "recipients",
  "href": "/rest/logs/recipients",
}
]

```

## /logs/events/

システム・イベントと監査ログ

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<b>event_type</b>	該当のタイプに一致するログ・エントリーのみを表示するように、イベント・オブジェクト type フィールドに指定できる値のいずれかに設定します。認識できない値は無視されます。例: <b>event_type=audit&amp;event_type=system</b>
<b>order</b>	「descending」に設定されている場合に最新のイベントを最初に配置する順序値。例: <b>order=descending</b>

#### サポートされるコンテンツ・タイプ

コンテンツ・タイプ	記述
<b>application/json</b>	下記のスキーマで記述されているオブジェクト。
<b>text/csv</b>	以下の説明にあるログ・リソースのコンマ区切り値 (CSV) 表記。

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文にシステム・イベントと監査ログのエントリーがコレクションとして含まれます。照会フィルターが適用されており、ログが一致しない場合は、空のコレクションが送信されます。
<b>400</b>	現行要求が不適切な形式になっています。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。

<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": ["type", "sequence_number", "event_id", "source",
        "event_type", "severity", "timestamp", "message_args", "redacted" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "event" ] },
        "sequence_number": {
          "type": "number",
          "multipleOf": 1,
          "minimum": 1
        },
        "event_id": "string",
        "source": "string",
        "event_type": { "enum": [ "AUDIT", "SYSTEM" ] },
        "severity": { "enum": [ "DEBUG", "INFO",
          "WARN", "ERROR", "CRITICAL" ] },
        "timestamp": {
          "type": "number",
          "multipleOf": 1,
          "minimum": 0
        },
        "message": "string",
        "message_args": {
          "type": [ "array" ],
          "minItems": 0,
          "uniqueItems": false,
          "items": [ { "type": [ "number", "string",
            "boolean", "null" ] } ]
        },
        "redacted": "boolean"
      }
    }
  ]
}
```

## 例

Request: GET /rest/logs/events?event\_type=audit&event\_type=system

Response: 200 OK

```
[
  {
    "type": "event",
    "sequence_number": 12,
    "event_id": "0X00020003",
    "source": "localhost",
    "event_type": "AUDIT",
    "severity": "INFO",
    "timestamp": 1442947787281,
    "message_args": [ "admin", "policy255" ],
    "redacted": false
  },
  {
    "type": "event",
    "sequence_number": 14,
    "event_id": "0x00220334",
    "source": "192.168.4.234",
    "event_type": "SYSTEM",
    "severity": "CRITICAL",
    "timestamp": 1442947787282,
    "severity": "CRITICAL",
    "message": "Policy %s could not be applied: RC %s",

```

```

    "message_args": [ "policy255", 23 ],
    "redacted ": false
  }
]

```

## [/logs/events/{sequence\\_number}](#)

個々のイベント

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に URL の {sequence_number} 部分と一致するイベント・オブジェクトが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {sequence_number} のイベントが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>410</b>	指定された {sequence_number} のイベントが見つかりませんでしたが、以前に存在しました。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

イベント・ログ・コレクション・スキーマを参照してください。

#### 例

```

Request: GET /rest/logs/events/12

Response: 200 OK

{
  "type": "event",
  "sequence_number": 12,
  "event_id": "0X00020003",
  "source": "localhost",
  "event_type": "AUDIT",
  "severity": "INFO",
  "timestamp": 1442947787281,
  "message_args": [ "admin", "policy255" ],
  "redacted ": false
}

```

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に子ログへの参照のコレクションが含まれます。参照にはログ・エントリー自体は含まれません。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": ["type", "id", "href"],
      "additionalProperties": true,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "ref" ] },
        "id": "string",
        "href": "string"
      }
    }
  ]
}
```

#### 例

Request: GET /rest/logs/debug

Response: 200 OK

```
[
  {
    "type": "ref",
    "id": "bundleAll.log",
    "href": "/rest/logs/debug/bundleAll.log",
  },
  {
    "type": "ref",
    "id": "bundleWarnPlus.log",
```

```

    "href": "/rest/logs/debug/bundleWarnPlus.log",
  }
]

```

## /logs/debug/{log\_id}

個々のデバッグ・ログ

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、指定されたデバッグ・ログのコンテンツが文字列の配列としてファイル内の各行に1つずつ含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {log_id} のログが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```

{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": false,
  "items": [
    {
      "type": "string"
    }
  ]
}

```

#### 例

Request: GET /rest/logs/debug/bundleAll.log

Response: 200 OK

```

[
  "r22 Sep 2015 13:09:38 [INFO ] c.s.a.f.l.LogConfigurator(LogConfigurator.java:42)
  Logs Configured",
  "22 Sep 2015 13:09:38 [INFO ] c.s.a.f.b.BundleValidator(BundleValidator.java:37)
  !!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!! ",
  "22 Sep 2015 13:09:38 [INFO ] c.s.a.f.l.Activator(Activator.java:35)

```



```
Starting Loggeref"
]
```

## /logs/recipients

アクセス・イベント・ログの受信者

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、構成されたすべてのイベント・ログ受信者が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "transport", "user",
"password", "host", "port", "email", "security", "actions", "format" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "event-recipient" ] },
        "id": "number",
        "transport": { "enum": [ "syslog" ] },
        "user": "string",
        "password": "string",
        "host": "string",
        "port": "number",
        "email": "string",
        "format": { "enum": [ "LEEF", "CADF-CSV", "CADF-JSON", "CEF" ] },
        "security": { "enum": [ "none", "SSL", "TLS" ] },
      }
    }
  ]
}
```

#### 例

Request: GET /rest/logs/recipients

Response: 200 OK

```
[
  {
    "type": "event-recipient",
    "id": 4,
    "transport": "syslog",
    "host": "sfc.ibm.com",
    "port": 5687,
    "security": "none"
  }
]
```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	受信者が作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規受信者の URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはポリシーを作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規受信者が既存受信者の E メールまたは ID と競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

イベント受信者コレクション・スキーマの *event-recipient* オブジェクトを参照してください。変更: *id* は必須ではなく、設定もしないでください。

### 例

Request: POST /rest/logs/recipients

```
{
  "type": "event-recipient",
  "transport": "syslog",
  "host": "sfc.ibm.com",
  "port": 5687,
  "format": "LEEF",
  "security": "none"
}
```

Response: 201 Created | Location: /logs/recipients/4

## /logs/recipients/{id}

特定のイベント受信者

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたイベント受信者が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のイベント受信者が見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>410</b>	指定された {id} のイベント受信者が見つかりませんでしたが、以前に存在しました。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

イベント受信者コレクション・スキーマの *event-recipient* オブジェクトを参照してください。

#### 例

```
Request: GET /rest/logs/recipients/4
```

```
Response: 200 OK
```

```
{
  "type": "event-recipient",
  "id": 4,
  "transport": "syslog",
  "host": "sfc.ibm.com",
  "port": 5687,
  "format": "LEEF",
  "security": "none"
}
```

### DELETE

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
--------	----

<なし>	
------	--

## 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	削除を処理するためにジョブが作成されました。ジョブの URL については、 <b>Location</b> ヘッダーを参照してください。
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のイベント受信者が見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

## 例

Request: DELETE /rest/logs/recipients/4

Response: 204 No content

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはイベント受信者を作成する権限がありません。

404	指定された {id} のイベント受信者が見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	受信者に対する変更が別の受信者と競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

イベント受信者コレクション・スキーマの *event-recipient* オブジェクトを参照してください。**変更:** イベント受信者オブジェクトでは、*PATCH* の *type* フィールドと *id* フィールドのみ必須です。その他のフィールドはすべてオプションです。

## 例

Request: PATCH /rest/logs/recipients/4

```
{
  "id": 4,
  "email": "noreply-2@example.com"
}
```

Response: 205 Reset content

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはイベント受信者を作成する権限がありません。
404	指定された {id} のイベント受信者が見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。

<b>409</b>	受信者に対する変更が別の受信者と競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

イベント受信者コレクション・スキーマの *event-recipient* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: PUT /rest/logs/recipients/4

```
{
  "type": "event-recipient",
  "id": 4,
  "transport": "email",
  "user": "admin",
  "password": "",
  "host": "",
  "port": null,
  "email": "noreply-3@example.com",
  "locale": "de",
  "security": "none"
}
```

Response: 205 Reset content

# 第6章 ジョブ

## /jobs

ジョブのサブリソースのリスト。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に子リソースへの参照のコレクションが含まれます。参照にはジョブ・スケジュールやログ・エントリー自体は含まれません。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 3,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": ["type", "id", "href"],
      "additionalProperties": true,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "ref" ] },
        "id": { "enum": [ "schedules", "schedulers", "history" ] },
        "href": "string"
      }
    }
  ]
}
```

#### 例

```
Request: GET /jobs

Response: 200 OK

[
```

```

{
  "type": "ref",
  "id": "schedules",
  "href": "/jobs/schedules",
},
{
  "type": "ref",
  "id": "schedulers",
  "href": "/jobs/schedulers",
},
{
  "type": "ref",
  "id": "history",
  "href": "/jobs/history",
}
]

```

## /jobs/schedules

システムのすべてのジョブ・スケジュール。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、すべての既知のジョブ・スケジュールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはジョブを表示する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```

{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "job_id", "when_starts", "when_ends", "starts_unit",
        "ends_unit", "frequency", "multiplier", "state", "job_type",
        "job_notes", "job_properties" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "job-schedule" ] },
        "id": "number",
        "job_id": "number",
        "when_starts": "number",

```



```

        "when_ends": "number",
        "starts_unit": { "enum": [ "ABS_MS", "REL_MS", "REL_SECONDS", "REL_MINUTES",
            "REL_HOURS", "REL_DAYS", "REL_WEEKS", "REL_MONTHS", "REL_YEARS" ] },
        "ends_unit": { "enum": [ "ABS_MS", "REL_MS", "REL_SECONDS", "REL_MINUTES",
            "REL_HOURS", "REL_DAYS", "REL_WEEKS", "REL_MONTHS", "REL_YEARS" ] },
        "frequency": { "enum": [ "ONCE", "MINUTELY", "HOURLY", "DAILY", "WEEKLY",
            "MONTHLY", "YEARLY" ] },
        "multiplier": "number",
        "state": { "enum": [ "NOT_APPROVED", "WAITING", "RUNNING", "PAUSED",
            "CANCELLED", "FINISHED" ] },
        "job_type": "string",
        "job_notes": "string",
        "job_properties": {
            "type": "object",
            "required": [],
            "additionalProperties": true,
            "properties": {}
        }
    }
}
]

```

## 例

Request: GET /rest/jobs/schedules

Response: 200 OK

```

[
  {
    "id": 1,
    "job_id": 1,
    "when_starts": 0,
    "when_ends": 0,
    "starts_unit": "ABS_MS",
    "ends_unit": "ABS_MS",
    "frequency": "ONCE",
    "multiplier": 1,
    "state": "NOT_APPROVED",
    "job_properties": {
      "c.s.a.b.u.j.createUser": "secadm",
      "runnable.passwordSalt64": "oPgSfm+httrj13c73xgytESU2hiWJVfqkQB8CMcu7l+4¥u003d",
      "job-submitter": "admin",
      "runnable.passwordDigest64": "tPV9p7WDjpkNv7czq1KUh+BCC3LcySTsUnZcN1OUYYQ¥u003d",
      "c.s.a.b.u.j.createNotes": ""
    },
    "job_type": "c.s.a.b.u.j.CreateJob",
    "job_notes": "Creating a security administrator",
    "type": "job-schedule"
  }
]

```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	ジョブ・スケジュールが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに、新しく作成されたスケジューラー・ジョブ (承認されると実際のジョブ・スケジュールをアクティブ化する) の URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーには、このジョブ・スケジュールに示されているジョブ・タイプを作成する許可がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

```
{
  "type": "object",
  "required": [ "type", "when_starts", "when_ends", "frequency", "multiplier",
    "job_type", "job_notes", "job_properties" ],
  "additionalProperties": false,
  "properties": {
    "type": { "enum": [ "job-schedule" ] },
    "id": "number",
    "job_id": "number",
    "when_starts": "number",
    "when_ends": "number",
    "starts_unit": { "enum": [ "ABS_MS", "REL_MS", "REL_SECONDS", "REL_MINUTES",
      "REL_HOURS", "REL_DAYS", "REL_WEEKS", "REL_MONTHS", "REL_YEARS" ] },
    "ends_unit": { "enum": [ "ABS_MS", "REL_MS", "REL_SECONDS", "REL_MINUTES",
      "REL_HOURS", "REL_DAYS", "REL_WEEKS", "REL_MONTHS", "REL_YEARS" ] },
    "frequency": { "enum": [ "ONCE", "MINUTELY", "HOURLY", "DAILY", "WEEKLY",
      "MONTHLY", "YEARLY" ] },
    "multiplier": "number",
    "state": { "enum": [ "NOT_APPROVED", "WAITING", "RUNNING", "PAUSED",
      "CANCELLED", "FINISHED" ] },
    "job_type": "string",
    "job_notes": "string",
    "job_properties": {
      "type": "object",
      "required": [],
      "additionalProperties": true,
      "properties": {}
    }
  }
}
```

## ジョブ・スケジュール・フィールドの説明

フィールド	タイプ	使用できる値	説明
<b>id</b>	整数	自動生成	スケジュールの ID。
<b>job_id</b>	整数	システムが設定	スケジュールに関連付けられているスケジューラー・ジョブの ID。
<b>when_starts</b>	Long	0 から MAX_LONG 0 は承認されたらすぐに開始することを意味します。	絶対エポック・ミリ秒、またはスケジュールが承認された時間に対する相対時間単位数。  この値により、スケジュールが実行を開始するタイミングが決まります。

<b>when_ends</b>	Long	<p>0 から MAX_LONG</p> <p>0 は永久に実行することを意味します (繰り返しスケジュールの場合のみ)。</p>	<p>絶対エポック・ミリ秒、またはスケジュールが実行を開始した時間に対する相対時間単位数。</p> <p>この値により、スケジュールが実行される期間が決まります。</p>
<b>starts_unit</b>	列挙型	<p>ABS_MS = 絶対エポック・ミリ秒</p> <p>REL_MS = (承認からの) 相対ミリ秒数</p> <p>REL_SECONDS = (承認からの) 相対秒数</p> <p>REL_MINUTES = (承認からの) 相対分</p> <p>REL_HOURS = (承認からの) 相対時間数</p> <p>REL_DAYS = (承認からの) 相対日数</p> <p>REL_WEEKS = (承認からの) 相対週数</p> <p>REL_MONTHS = (承認からの) 相対月数</p> <p>REL_YEARS = (承認からの) 相対年数</p>	<p>システムが when_starts フィールドの入力値を解釈する方法を決定します。ABS_MS に設定する場合、when_starts にはエポック・ミリ秒が入ります。それ以外の場合、when_starts には承認時刻に対する相対時間単位数が入ります。</p>

<b>ends_unit</b>	列挙型	<p>ABS_MS = 絶対エポック・ミリ秒</p> <p>REL_MS = (スケジュール開始からの) 相対ミリ秒数</p> <p>REL_SECONDS = (スケジュール開始からの) 相対秒数</p> <p>REL_MINUTES = (スケジュール開始からの) 相対分数</p> <p>REL_HOURS = (スケジュール開始からの) 相対時間数</p> <p>REL_DAYS = (スケジュール開始からの) 相対日数</p> <p>REL_WEEKS = (スケジュール開始からの) 相対週数</p> <p>REL_MONTHS = (スケジュール開始からの) 相対月数</p> <p>REL_YEARS = (スケジュール開始からの) 相対年数</p>	<p>システムが when_ends フィールドの入力値を解釈する方法を決定します。ABS_MS に設定する場合、when_ends にはエポック・ミリ秒が入ります。それ以外の場合、when_ends には開始時刻に対応する相対時間単位数が入ります。つまり、スケジュールの長さです。</p>
<b>frequency</b>	列挙型	<p>ONCE = 1 回実行/繰り返しなし</p> <p>MINUTELY = M 分毎に繰り返し</p> <p>HOURLY = M 時間毎に繰り返し</p> <p>DAILY = M 日毎に繰り返し</p> <p>WEEKLY = M 週毎に繰り返し</p> <p>MONTHLY = M カ月毎に繰り返し</p> <p>YEARLY = M 年毎に繰り返し</p> <p>注: M は以下の multiplier フィールドです。</p>	<p>繰り返しスケジュールの頻度を決定します。ONCE に設定するとスケジュールは繰り返されないため (繰り返しなし)、when_ends パラメーターは無視されます。</p> <p>それ以外に設定する場合、multiplier フィールドと連動する値によって繰り返しジョブの頻度が定義され、when_ends パラメーターでスケジュールを継続する期間が決まります。</p>

<b>multiplier</b>	整数	0 から MAX_INT	frequency と連動し、繰り返し実行までの待機間隔を決定します。例えば frequency=HOURLY, multiplier=3 の場合、ジョブは 3 時間毎に実行されるといった具合です。
<b>state</b>	列挙型	<p>未承認</p> <p>スケジュールは承認も実行もされていないため、ジョブは実行されません。これは承認前の初期状態です。</p> <p>待機中</p> <p>スケジュールは実行中であり、ジョブは承認済みですが、まだ何も実行されていません。</p> <p>実行中</p> <p>スケジュールは 1 つ以上のジョブを既に実行済みであり、さらなる実行がスケジュールされています。</p> <p>一時停止</p> <p>スケジュールは一時的に停止されています。この状態にある間はジョブは実行されません。</p> <p>キャンセル済み</p> <p>スケジュールは明示的にキャンセルされました。今後のジョブ実行は発生しません。</p> <p>完了</p> <p>スケジュールは正常に実行を完了しました。今後のジョブ実行は発生しません。</p>	スケジュールの状態。システムによって管理されます。
<b>job_type</b>	文字列	ジョブ・タイプに関するセクションを参照してください。	実行依頼するジョブのタイプ。これにより、スケジューラーがトリガーしたときに実行される実行可能なジョブのタイプ (実際のワークロード) が決まります。
<b>job_notes</b>	文字列	任意の文字列値。	デフォルトでジョブに追加する注記/コメント。

<b>job_properties</b>	オブジェクト	JSON オブジェクト。	スケジュールで実行するジョブを定義するジョブ・プロパティ・オブジェクト。ここでの値は、ジョブのタイプによって異なります。詳しくは次のセクションを参照してください。
-----------------------	--------	--------------	---

## ジョブ・プロパティ・スキーマ

```
{
  "type": "object",
  "required": [ "type", "job_type", "keys_to_update", "public_key" ],
  "additionalProperties": false,
  "properties": {
    "type": { "enum": [ "key-update-job" ] },
    "job_type": { "enum": [ "key-rotation", "key-revocation", "key-shred" ] },
    "keys_to_update": {
      "type": "array",
      "minItems": 0,
      "uniqueItems": true,
      "items": [
        {
          "type": "object",
          "required": [ "type", "id" ],
          "additionalProperties": false,
          "properties": {
            "id": "number"
          }
        }
      ]
    },
    "public_key": {
      "type": "object",
      "required": [ "name", "id", "type", "href" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "ref" ] },
        "name": "string",
        "id": "number",
        "href": "string"
      }
    }
  }
}
```

## 例

Request: POST /rest/jobs/schedules

```
{
  "type": "job-schedule",
  "when_starts": 2,
  "when_ends": 0,
  "starts_unit": "REL_WEEKS",
  "frequency": "WEEKLY",
  "multiplier": 1,
  "job_type": "key-update-job",
  "job_notes": "",
  "job_properties": {
    "type": "key-update-job",
    "job_type": "key-rotation",
    "keys_to_update": [
      {
        "id": 3
      },
      {
        "id": 2
      },
      {
        "id": 1
      }
    ],
    "notes": "",
    "public_key": {
      "name": "server1.cert.pem",

```

```
    "id": 1,  
    "type": "client-file"  
  }  
}
```

Response: 201 Created | Location: /rest/jobs/schedulers/2

## /jobs/schedules/{id}

特定のジョブ・スケジュール。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたジョブ・スケジュールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーには、このジョブ・スケジュールに関連付けられているジョブまたはジョブ・タイプを表示する許可がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のジョブ・スケジュールが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

セクション [24 ページ](#) の『スキーマ』の array 内の *job-schedule* オブジェクト・タイプを参照してください。

#### 例

前述の POST セクションのスケジュール。この例ではまだ承認されていないので注意してください。また、*job\_properties* オブジェクトが外部オブジェクト・フォームから内部表記に変更される点にも注意してください。

Request: GET /rest/jobs/schedules/2

Response: 200 OK

```
{  
  "id": 2,  
  "job_id": 2,  
  "when_starts": 2,  
  "when_ends": 0,  
}
```

```

"starts_unit": "REL_WEEKS",
"ends_unit": "ABS_MS",
"frequency": "WEEKLY",
"multiplier": 1,
"state": "NOT_APPROVED",
"job_properties": {
  "com.securityfirstcorp.atlantis.bundles.keygen.keys.agentIndex": "",
  "com.securityfirstcorp.atlantis.bundles.keygen.keys.keyUpdateIndexes": "1 2 3",
  "runnable.updateJobType": "ROTATE",
  "runnable.keyIndexes2": "1",
  "runnable.fileBytes64":
    "LS0tLS1CRUdJTiBDRVJUSUZJQ0FURSB0tLS0tCk1JSUdIakNDQkFhZ0F3SUJBZ01DRUFFd0RRWUpLb1pJaH
    ... omitted ...
    DNVYWpCc1VJbHN0a0Uwbk5MTjIyK2JoRGt0SHJNNmZSU1ZESEd3PT0
    KLS0tLS1FTkQgQ0VSVElGSUNBVEUtLS0tLQoXu003d",
  "runnable.keyIndexes0": "3",
  "runnable.keyIndexes1": "2",
  "runnable.user": "admin",
  "runnable.notes": "",
  "job-submitter": "admin"
},
"job_type": "c.s.a.b.p.j.KeyRotationJob",
"job_notes": null,
"type": "job-schedule"
}

```

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>201</b>	スケジュール更新ジョブが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに、新しく作成されたジョブ (承認されると実際のジョブ・スケジュールを新規パラメーターでリフレッシュする) の URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーには、このジョブ・スケジュールに関連付けられているジョブまたは特定のジョブ・タイプを表示する許可がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のジョブ・スケジュールが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。



## スキーマ

セクション 24 ページの『スキーマ』の array 内の *job-schedule* オブジェクト・タイプを参照してください。**変更点:** 必須フィールドは *type* と *id* のみです。変更できるのは *when\_starts*、*when\_ends*、*starts\_unit*、および *ends\_unit* の各フィールドのみです。

## 例

時刻範囲を過去にオーバーライドすることでアクティブ・ジョブ・スケジュールを PATCH し、スケジュール更新ジョブが承認されたらすぐに終了するようにします。

```
Request: PATCH /rest/jobs/schedules/2
```

```
{
  "type": "job-schedule",
  "id": 2,
  "when_starts": 1,
  "when_ends": 2,
  "starts_unit": "ABS_MS",
  "ends_unit": "ABS_MS"
}
```

```
Response: 201 Created | Location: /rest/jobs/schedulers/3
```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>201</b>	スケジュール更新ジョブが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに、新しく作成されたジョブ (承認されるとジョブ・スケジュールを新規パラメーターでリフレッシュする) の URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーには、このジョブ・スケジュールに関連付けられているジョブまたは特定のジョブ・タイプを表示する許可がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のジョブ・スケジュールが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

スキーマ

セクション 24 ページの『スキーマ』の array 内の *job-schedule* オブジェクト・タイプを参照してください。**変更点:** 変更できるのは *when\_starts*、*when\_ends*、*starts\_unit*、および *ends\_unit* の各フィールドのみです。

例

すべてのスケジュール・リソースを送信する必要がある点を除き、前述の PATCH の例と同様です。

```
Request: PUT /rest/jobs/schedules/2

{
  "id": 2,
  "job_id": 2,
  "when_starts": 1,
  "when_ends": 2,
  "starts_unit": "ABS_MS",
  "ends_unit": "ABS_MS",
  "frequency": "WEEKLY",
  "multiplier": 1,
  "state": "NOT_APPROVED",
  "job_properties": {
    "com.securityfirstcorp.atlantis.bundles.keygen.keys.agentIndex": "",
    "com.securityfirstcorp.atlantis.bundles.keygen.keys.keyUpdateIndexes": "1 2 3",
    "runnable.updateJobType": "ROTATE",
    "runnable.keyIndexes2": "1",
    "runnable.fileBytes64":
"LS0tLS1CRUdJTiBDRVJUSUZJQ0FURSB0tLS0tCk1JSUdIakNDQkFhZ0F3SUJBZ01DRUFFd0RRWUpLb1pJaH
... omitted ...
DNVYWpCc1VJbHN0a0Uwbk5MTjIyK2JoRGt0SHJNNmZSU1ZESEd3PT0KLS0
tLS1FTkQgO0VSVElGSUNBVEUtLS0tLQo%u003d",
    "runnable.keyIndexes0": "3",
    "runnable.keyIndexes1": "2",
    "runnable.user": "admin",
    "runnable.notes": "",
    "job-submitter": "admin"
  },
  "job_type": "c.s.a.b.p.j.KeyRotationJob",
  "job_notes": null,
  "type": "job-schedule"
}

Response: 201 Created | Location: /rest/jobs/schedulers/4
```

/jobs/schedulers

すべてのスケジューラー・ジョブ。

GET

照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

状況コード

コード	記述
200	応答本文に、すべての既知のスケジューラー・ジョブが含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはジョブを表示する権限がありません。

<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "scheduler_id", "job_type",
"state", "substate", "when_created", "when_started", "when_done",
"required_approvals", "required_rejections", "notes", "properties",
"results", "schedules", "actions" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "job" ] },
        "id": "number",
        "scheduler_id": "number",
        "job_type": "string",
        "state": { "enum": [ "WAITING", "RUNNING", "DONE",
"REJECTED", "ERROR" ] },
        "substate": { "enum": [ "R_OK", "R_BLOCKED", "D_OK",
"D_REVIEW", "D_FAILED" ] },
        "when_created": "number",
        "when_started": "number",
        "when_done": "number",
        "required_approvals": "number",
        "required_rejections": "number",
        "notes": "string",
        "properties": {
          "type": "object",
          "required": [],
          "additionalProperties": true,
          "properties": {}
        },
        "results": {
          "type": "object",
          "required": [],
          "additionalProperties": true,
          "properties": {}
        },
        "schedules": (array of job-schedule, see 6.2.1.3)
        "actions": {
          "type": [ "array" ],
          "minItems": 0,
          "uniqueItems": true,
          "items": [
            {
              "type": "object",
              "required": [ "type", "id", "job_id", "user",
"action", "when_taken", "notes" ],
              "additionalProperties": false,
              "properties": {
                "type": { "enum": [ "job-action" ] },
                "id": "number",
                "job_id": "number",
                "user": "string",
                "action": { "enum": [ "APPROVE",
"REJECT", "ABSTAIN" ] },
                "when_taken": "number",
                "notes": "string"
              }
            }
          ]
        }
      }
    }
  ]
}
```

```
]
}
```

## 例

Request: GET /rest/jobs/schedulers

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": 1,
    "scheduler_id": 1,
    "job_type": "c.s.a.b.j.j.SchedulingJob",
    "state": "DONE",
    "substate": "D_OK",
    "when_created": 1503619618974,
    "when_started": 1503672302393,
    "when_done": 1503672302402,
    "required_approvals": 1,
    "required_rejections": 1,
    "notes": "Creating a security administrator",
    "properties": {
      "c.s.a.b.u.j.createUser": "secadm",
      "runnable.passwordSalt64": "oPgSfm+htrj13c73xgytESU2hiWJVfqkQB8CMcu7l+4¥u003d",
      "job-submitter": "admin",
      "runnable.passwordDigest64": "tPV9p7WDjpkNv7czq1KUUh+BCC3LcySTsUnZcN1OUYYQ¥u003d",
      "c.s.a.b.u.j.createNotes": ""
    },
    "results": null,
    "actions": [{
      "id": 2,
      "job_id": 1,
      "user": "admin",
      "action": "APPROVE",
      "when_taken": 1503672302385,
      "notes": "Approved on 16 April [JTK]",
      "type": "job-action"
    }],
    "schedules": [{
      "id": 1,
      "job_id": 1,
      "when_starts": 0,
      "when_ends": 0,
      "starts_unit": "ABS_MS",
      "ends_unit": "ABS_MS",
      "frequency": "ONCE",
      "multiplier": 1,
      "state": "FINISHED",
      "job_properties": {
        "c.s.a.b.u.j.createUser": "secadm",
        "runnable.passwordSalt64": "oPgSfm+htrj13c73xgytESU2hiWJVfqkQB8CMcu7l+4¥u003d",
        "job-submitter": "admin",
        "runnable.passwordDigest64": "tPV9p7WDjpkNv7czq1KUUh+BCC3LcySTsUnZcN1OUYYQ¥u003d",
        "c.s.a.b.u.j.createNotes": ""
      },
      "job_type": "c.s.a.b.u.j.CreateJob",
      "job_notes": "Creating a security administrator",
      "type": "job-schedule"
    }],
    "type": "job"
  }
]
```

## サブ状態

サブ状態は、一部の状態値にのみ存在します。該当しない場合は、null になります。サブ状態値は、次のように定義されています。

サブ状態	状態で許可されるもの	記述
------	------------	----

<b>R_OK</b>	実行中	ジョブが承認されており、スレッドの実行時間に対してキューに入れているか、アクティブに実行されています。現時点で、問題は検出されていません。
<b>R_BLOCKED</b>	実行中	ジョブの完了が完全にブロックされているか部分的にブロックされており、介入が必要です。ジョブの結果フィールドのデータを使用すると適切なアクションを特定できます。
<b>D_OK</b>	完了	ジョブの実行が完了しており、問題は検出されませんでした。
<b>D_REVIEW</b>	完了	ジョブの実行が完了していますが、成功か失敗かはプログラムでは特定できません。ジョブの結果フィールドのデータおよび意図した効果の手動検証を使用すると、ジョブが成功か失敗かを特定できます。このサブ状態は、まれであると予想されます。
<b>D_FAILED</b>	完了	ジョブの実行が完了していますが、失敗したことが確認されています。結果フィールドのデータを使用すると、失敗を特定できます。

## </jobs/schedulers/{id}>

特定のスケジューラー・ジョブ。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたジョブが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはジョブまたはこのジョブ・タイプを表示する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のジョブが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。

<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

セクション 35 ページの『スキーマ』の *job* オブジェクトおよび *job-action* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/jobs/schedulers/1

Response: 200 OK

```
{
  "id": 1,
  "scheduler_id": 1,
  "job_type": "c.s.a.b.j.j.SchedulingJob",
  "state": "DONE",
  "substate": "D_OK",
  "when_created": 1503619618974,
  "when_started": 1503672302393,
  "when_done": 1503672302402,
  "required_approvals": 1,
  "required_rejections": 1,
  "notes": "Creating a security administrator",
  "properties": {
    "c.s.a.b.u.j.createUser": "secadm",
    "runnable.passwordSalt64": "oPgSfm+htrj13c73xgytESU2hiWJVfqkQB8CMcu7l+4\u003d",
    "job-submitter": "admin",
    "runnable.passwordDigest64": "tPV9p7WDjpkNv7czq1KUh+BCC3LcySTsUnZcN10UYQ\u003d",
    "c.s.a.b.u.j.createNotes": ""
  },
  "results": null,
  "actions": [
    {
      "id": 2,
      "job_id": 1,
      "user": "admin",
      "action": "APPROVE",
      "when_taken": 1503672302385,
      "notes": "Approved on 16 April [JTK]",
      "type": "job-action"
    }
  ],
  "schedules": [
    {
      "id": 1,
      "job_id": 1,
      "when_starts": 0,
      "when_ends": 0,
      "starts_unit": "ABS_MS",
      "ends_unit": "ABS_MS",
      "frequency": "ONCE",
      "multiplier": 1,
      "state": "FINISHED",
      "job_properties": {
        "c.s.a.b.u.j.createUser": "secadm",
        "runnable.passwordSalt64": "oPgSfm+htrj13c73xgytESU2hiWJVfqkQB8CMcu7l+4\u003d",
        "job-submitter": "admin",
        "runnable.passwordDigest64": "tPV9p7WDjpkNv7czq1KUh+BCC3LcySTsUnZcN10UYQ\u003d",
        "c.s.a.b.u.j.createNotes": ""
      },
      "job_type": "c.s.a.b.u.j.CreateJob",
      "job_notes": "Creating a security administrator",
      "type": "job-schedule"
    }
  ],
  "type": "job"
}
```

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはジョブまたは特定のジョブ・タイプを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のジョブが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

セクション 35 ページの『スキーマ』の *job* オブジェクトを参照してください。変更点: 必須フィールドは *type* と *id* のみです。変更できるのは *notes* フィールドのみです。

### 例

Request: PATCH /rest/jobs/schedulers/1

```
{
  "type": "job",
  "id": 1,
  "notes": "Creating a security administrator (delete after 1/1/2018)"
}
```

Response: 205 Reset content

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはジョブまたは特定のジョブ・タイプを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のジョブが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

セクション 35 ページの『スキーマ』の *job* オブジェクトを参照してください。変更点: 変更できるのは *notes* フィールドのみです。

## 例

Request: PUT /rest/jobs/schedulers/1

```
{
  "id": 1,
  "scheduler_id": 1,
  "job_type": "c.s.a.b.j.j.SchedulingJob",
  "state": "DONE",
  "substate": "D_OK",
  "when_created": 1503619618974,
  "when_started": 1503672302393,
  "when_done": 1503672302402,
  "required_approvals": 1,
  "required_rejections": 1,
  "notes": "Creating a security administrator (delete after 1/1/2018)",
  "properties": {
    "c.s.a.b.u.j.createUser": "secadm",
    "runnable.passwordSalt64": "oPgSfm+htrj13c73xgytESU2hiwJVfqkQB8CMcu7l+4Xu003d",
    "job-submitter": "admin",
    "runnable.passwordDigest64": "tPV9p7WDjpkNv7czq1KUh+BCC3LcySTsUnZcN10UYYQXu003d",
    "c.s.a.b.u.j.createNotes": ""
  },
  "results": null,
  "actions": [
    {
      "id": 2,
      "job_id": 1,
      "user": "admin",
      "action": "APPROVE",
      "when_taken": 1503672302385,
      "notes": "Approved on 16 April [JTK]",
      "type": "job-action"
    }
  ],
  "schedules": [
    {
      "id": 1,
```



```

    "job_id": 1,
    "when_starts": 0,
    "when_ends": 0,
    "starts_unit": "ABS_MS",
    "ends_unit": "ABS_MS",
    "frequency": "ONCE",
    "multiplier": 1,
    "state": "FINISHED",
    "job_properties": {
      "c.s.a.b.u.j.createUser": "secadm",
      "runnable.passwordSalt64": "oPgSfm+htrj13c73xgytESU2hiWJVfQkQB8CMcu7l+4¥u003d",
      "job-submitter": "admin",
      "runnable.passwordDigest64": "tPV9p7WDjpkNv7czq1KUh+BCC3LcySTsUnZcN1OUYYQ¥u003d",
      "c.s.a.b.u.j.createNotes": ""
    },
    "job_type": "c.s.a.b.u.j.CreateJob",
    "job_notes": "Creating a security administrator",
    "type": "job-schedule"
  },
  ],
  "type": "job"
}

```

Response: 205 Reset content

## </jobs/schedulers/{id}/actions>

特定のジョブに対して実行されるアクション。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、ジョブのアクション配列が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはジョブまたはこのジョブ・タイプを表示する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のジョブが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

セクション [35 ページの『スキーマ』](#) の *job* オブジェクトおよび *job-action* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/jobs/schedulers/1/actions

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": 2,
    "job_id": 1,
    "user": "admin",
    "action": "APPROVE",
    "when_taken": 1503672302385,
    "notes": "Approved on 16 April [JTK]",
    "type": "job-action"
  }
]
```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	ジョブ・アクションが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規ジョブ・アクションの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは、ジョブまたはこのジョブ・タイプを表示する権限、またはこのジョブ・タイプに対して指定されたアクションを実行する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

セクション 35 ページの『スキーマ』の *job* オブジェクトおよび *job-action* オブジェクトを参照してください。変更: *type*、*job\_id*、および *action* のみが必須フィールドです。*user*、*id*、および *when\_taken* フィールドは *POST* が正常に終了すると生成されます。

## 例

Request: POST /rest/jobs/schedulers/1/actions

```
{
  "type": "job-action",
  "job_id": 1,
  "action": "APPROVE",
  "notes": "Approved on 16 April [JTK]"
}
```

```
}
```

Response: 201 Created

## /jobs/history{r}

スケジュールによって実行されるすべてのジョブ。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、すべての既知のスケジューラー・ジョブが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはジョブを表示する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

セクション 35 ページの『スキーマ』の *job* オブジェクトを参照してください。 *id* フィールドが通常は *scheduler\_id* フィールドと異なる点を除き、スケジューラー・ジョブと同様です。 *scheduler\_id* フィールドは、実行ジョブを対応するスケジューラー・ジョブに関連付けます。

#### 例

Request: GET /rest/jobs/history

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id":4,
    "scheduler_id":1,
    "job_type":"c.s.a.b.u.j.CreateJob",
    "state":"DONE",
    "substate":"D_OK",
    "when_created":1503672302432,
    "when_started":1503672302455,
    "when_done":1503672302509,
    "required_approvals":1,
    "required_rejections":1,
    "notes":"Creating a security administrator",
    "properties":{"c.s.a.b.u.j.createUser":"secadm",
    "runnable.passwordSalt64":"oPgSfm+htrj13c73xgytESU2hiWJVfqbQB8CMcu7l+4¥u003d",
    "runnable.passwordDigest64":"tPV9p7WDjpkNv7czq1KUh+BCC3LcySTsUnZcN10UYVQ¥u003d",
    "job-submitter":"admin",
```

```

        "c.s.a.b.u.j.createNotes":""
    },
    "results":null,
    "actions":[
        {
            "id":2,
            "job_id":1,
            "user":"admin",
            "action":"APPROVE",
            "when_taken":1503672302385,
            "notes":"Approved on 16 April [JTK]",
            "type":"job-action"
        }
    ],
    "schedules":[
        {
            "id":1,
            "job_id":1,
            "when_starts":0,
            "when_ends":0,
            "starts_unit":"ABS_MS",
            "ends_unit":"ABS_MS",
            "frequency":"ONCE",
            "multiplier":1,
            "state":"FINISHED",
            "job_properties":{"
                "c.s.a.b.u.j.createUser":"secadm",
                "runnable.passwordSalt64":"oPgSfm+htrj13c73xgytESU2hiWJVfqkQB8CMcu7l+4¥u003d",
                "job-submitter":"admin",
                "runnable.passwordDigest64":"tPV9p7WDjpkNv7czq1KUh+BCC3LcySTsUnZcN10UYYQ¥u003d",
                "c.s.a.b.u.j.createNotes":""
            },
            "job_type":"c.s.a.b.u.j.CreateJob",
            "job_notes":"Creating a security administrator",
            "type":"job-schedule"
        }
    ],
    "type":"job"
}
]

```

## /jobs/history/{id}

特定の実行済みジョブ。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に要求された実行済みジョブが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはジョブまたはこのジョブ・タイプを表示する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のジョブが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。

<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

セクション 35 ページの『スキーマ』の *job* オブジェクトを参照してください。 *id* フィールドが通常は *scheduler\_id* フィールドと異なる点を除き、スケジューラー・ジョブと同様です。 *scheduler\_id* フィールドは、実行ジョブを対応するスケジューラー・ジョブに関連付けます。

## 例

Request: GET /rest/jobs/history/4

Response: 200 OK

```
{
  "id":4,
  "scheduler_id":1,
  "job_type":"c.s.a.b.u.j.CreateJob",
  "state":"DONE",
  "substate":"D_OK",
  "when_created":1503672302432,
  "when_started":1503672302455,
  "when_done":1503672302509,
  "required_approvals":1,
  "required_rejections":1,
  "notes":"Creating a security administrator",
  "properties":{
    "c.s.a.b.u.j.createUser":"secadm",
    "runnable.passwordSalt64":"oPgSfm+htrj13c73xgytESU2hiWJVfqkQB8CMcu7l+4
    4u003d",
    "runnable.passwordDigest64":"tPV9p7WDjpkNv7c
    zq1KUUh+BCC3LcySTsUnZcN10UYyQ4u003d",
    "job-submitter":"admin",
    "c.s.a.b.u.j.createNotes":""
  },
  "results":null,
  "actions":[
    {
      "id":2,
      "job_id":1,
      "user":"admin",
      "action":"APPROVE",
      "when_taken":1503672302385,
      "notes":"Approved on 16 April [JTK]",
      "type":"job-action"
    }
  ],
  "schedules":[
    {
      "id":1,
      "job_id":1,
      "when_starts":0,
      "when_ends":0,
      "starts_unit":"ABS_MS",
      "ends_unit":"ABS_MS",
      "frequency":"ONCE",
      "multiplier":1,
      "state":"FINISHED",
      "job_properties":{
        "c.s.a.b.u.j.createUser":"secadm",
        "runnable.passwordSalt64":"oPgSfm+htrj13c73xg
        ytESU2hiWJVfqkQB8CMcu7l+44u003d",
        "job-submitter":"admin",
        "runnable.passwordDigest64":"tPV9p7WDjpkNv7czq1
        KUUh+BCC3LcySTsUnZcN10UYyQ4u003d",
        "c.s.a.b.u.j.createNotes":""
      },
      "job_type":"c.s.a.b.u.j.CreateJob",
      "job_notes":"Creating a security administrator",
      "type":"job-schedule"
    }
  ]
}
```

```
}  "type": "job"
```

# 第7章 ポリシー・リソース

## /pathsets

使用可能なすべてのパス・セット

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、構成されたすべてのパス・セットが含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "name", "notes",
"snapshot", "source", "paths", "href" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "pathset" ] },
        "id": "number",
        "name": "string",
        "notes": "string",
        "snapshot": "boolean",
        "source": "number",
        "paths": {
          "type": [ "array" ],
          "minItems": 0,
          "uniqueItems": true,
          "items": [
            {
              "type": "object",
              "required": [ "type", "id", "path_set_id",
"path", "notes", "source", "snapshot" ],
              "additionalProperties": false,
              "properties": {
```

```

    "type": { "enum": [ "path" ] },
    "id": "number",
    "path": "string",
    "path_set_id": "number",
    "notes": "string",
    "source": "number",
    "snapshot": "boolean"
  }
}
]
}

```

## 例

Request: GET /rest/pathsets

Response: 200 OK

```

[
  {
    "id" : 1,
    "name" : "newPathset",
    "notes" : "",
    "source" : 0,
    "snapshot" : false,
    "paths" : [
      {
        "id" : 1,
        "path_set_id" : 1,
        "path" : "/file/path/one",
        "notes" : "",
        "source" : 0,
        "snapshot" : false,
        "type" : "path"
      },
      {
        "id" : 2,
        "path_set_id" : 1,
        "path" : "/file/path/two",
        "notes" : "",
        "source" : 0,
        "snapshot" : false,
        "type" : "path"
      }
    ],
    "href": null,
    "type": "pathset"
  }
]

```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	パス・セットが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規パス・セットの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。



<b>403</b>	現行ユーザーはパス・セットを作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規パス・セットが既存パス・セットの名前または id と競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

パス・セット・コレクション・スキーマの *path set* オブジェクトおよび *path* オブジェクトを参照してください。変更: いずれのオブジェクト・タイプでも *id* は必須ではなく、設定もしないでください。

## 例

Request: POST /rest/pathsets

```
{
  "name" : "newPathset",
  "notes" : "",
  "source" : 0,
  "snapshot" : false,
  "paths" : [
    {
      "path" : "/file/path/one",
      "notes" : "",
      "source" : 0,
      "snapshot" : false,
      "type" : "path"
    },
    {
      "path" : "/file/path/two",
      "notes" : "",
      "source" : 0,
      "snapshot" : false,
      "type" : "path"
    }
  ],
  "type": "pathset"
}
```

Response: 201 Created | Location: /rest/pathsets/1

## /pathsets/{id}

特定のパス・セット

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
-----	----

<b>200</b>	応答本文に、要求されたパス・セットが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のパス・セットが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

パス・セット・コレクション・スキーマの *path set* オブジェクトおよび *path* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/pathsets/1

Response: 200 OK

```
{
  "id" : 1,
  "name" : "newPathset",
  "notes" : "",
  "source" : 0,
  "snapshot" : false,
  "paths" : [
    {
      "id" : 1,
      "path_set_id" : 1,
      "path" : "/file/path/one",
      "notes" : "",
      "source" : 0,
      "snapshot" : false,
      "type" : "path"
    },
    {
      "id" : 2,
      "path_set_id" : 1,
      "path" : "/file/path/two",
      "notes" : "",
      "source" : 0,
      "snapshot" : false,
      "type" : "path"
    }
  ],
  "href": null,
  "type": "pathset"
}
```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
-----	----

204	削除は正常に終了しました。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
404	指定された {id} のパス・セットが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

## 例

Request: DELETE /rest/pathsets/1  
Response: 204 No content

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはプロセス・セットを変更する権限がありません。
404	指定された {id} のパス・セットが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	パス・セットに対する変更が別のパス・セットと競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
-----	---

## スキーマ

パス・セット・コレクション・スキーマの *path set* オブジェクトおよび *path* オブジェクトを参照してください。変更: *type* と *id* のみが両方のオブジェクト・タイプの必須フィールドです。

## 例

Request: PATCH /rest/pathsets/1

```
{
  "type": "pathset",
  "id": 1,
  "name": "newPathSetName"
}
```

Response: 205 Reset content

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはプロセス・セットを変更する権限がありません。
404	指定された {id} のパス・セットが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	パス・セットに対する変更が別のパス・セットと競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

パス・セット・コレクション・スキーマの *path set* オブジェクトおよび *path* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: PUT /rest/pathsets/1

```
{
  "id" : 1,
  "name" : "newPathsetName",
  "notes" : "Add some notes to the path set",
  "source" : 0,
  "snapshot" : false,
  "paths" : [
    {
      "id" : 1,
      "path_set_id" : 1,
      "path" : "/file/path/one",
      "notes" : "",
      "source" : 0,
      "snapshot" : false,
      "type" : "path"
    },
    {
      "id" : 2,
      "path_set_id" : 1,
      "path" : "/file/path/two",
      "notes" : "",
      "source" : 0,
      "snapshot" : false,
      "type" : "path"
    }
  ],
  "href": null,
  "type": "pathset"
}
```

Response: 205 Reset content

## /processes

使用可能なすべてのプロセス

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、構成されたすべてのプロセスが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "name", "path",
"version", "os", "distribution", "snapshot", "source", "rows" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "process" ] },
        "id": "number",
        "name": "string",
        "path": "string",
        "version": "number",
        "os": "number",
        "distribution": "number",
        "snapshot": "boolean",
        "source": "number",
        "rows": {
          "type": [ "array" ],
          "minItems": 0,
          "uniqueItems": true,
          "items": [
            {
              "type": "object",
              "required": [ "type", "id", "hash", "source", "snapshot" ],
              "additionalProperties": false,
              "properties": {
                "type": { "enum": [ "process-hash" ] },
                "id": "number",
                "hash": "string",
                "source": "number",
                "snapshot": "boolean"
              }
            }
          ]
        }
      }
    }
  ]
}
```

## OS

オペレーティング・システムの値は整数で表されます。整数値のマッピングは以下のとおりです。

値	マッピング
<b>0</b>	なし
<b>1</b>	<b>Linux</b>
<b>2</b>	<b>Windows</b>

## 配布

配布の値は整数で表されます。整数値のマッピングは以下のとおりです。

値	マッピング
<b>0</b>	なし
<b>1</b>	<b>Red Hat</b>
<b>2</b>	<b>CentOS</b>
<b>3</b>	<b>Windows</b>

## 例

Request: GET /processes

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": 1,
    "name": "testProcess",
    "path": "/home/bin/processA",
    "version": "1.1",
    "os": 1,
    "distribution": 2,
    "source": 0,
    "snapshot": false,
    "rows": [
      {
        "id": 1,
        "hash": "01200102030405060708091011121314151617181920212223242526272829303132",
        "source": 0,
        "snapshot": false,
        "type": "process-hash"
      },
      {
        "id": 2,
        "hash": "01200102030405060708091011121314151617181920212223242526272829303132",
        "source": 0,
        "snapshot": false,
        "type": "process-hash"
      }
    ],
    "href": null,
    "type": "process"
  },
  {
    "id": 2,
    "name": "testProcess",
    "path": "/home/bin/processA",
    "version": "1.1",
    "os": 1,
    "distribution": 2,
    "source": 1,
    "snapshot": true,
    "rows": [],
    "href": null,
    "type": "process"
  }
]
```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	プロセスが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規プロセス・セットの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはプロセスを作成する権限がありません。

<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規プロセスが既存プロセス・セットの名前または id と競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

プロセス・コレクション・スキーマの *process* オブジェクトおよび *process-hash* オブジェクトを参照してください。変更: いずれのオブジェクト・タイプでも *id* は必須ではなく、設定もしないでください。

## 例

Request: POST /processes

```
{
  "name": "newProcess",
  "path": "/home/bin/newProcess",
  "version": "1.1",
  "os": 1,
  "distribution": 2,
  "source": 0,
  "snapshot": false,
  "rows": [
    {
      "hash":
"01200102030405060708091011121314151617181920212223242526272829303132",
      "source": 0,
      "snapshot": false,
      "type": "process-hash"
    },
    {
      "hash":
"01200102030405060708091011121314151617181920212223242526272829303132",
      "source": 0,
      "snapshot": false,
      "type": "process-hash"
    }
  ],
  "type": "process"
}
```

Response: 201 Created | Location: /processes/2

## /processes/{id}

特定のプロセス

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたプロセスが含まれます。



<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のプロセスが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

プロセス・コレクション・スキーマの *process* オブジェクトおよび *process-hash* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/processes/1

Response: 200 OK

```
{
  "id": 1,
  "name": "testProcess",
  "path": "/home/bin/processA",
  "version": "1.1",
  "os": 1,
  "distribution": 2,
  "source": 0,
  "snapshot": false,
  "rows": [
    {
      "id": 1,
      "hash": "01200102030405060708091011121314151617181920212223242526272829303132",
      "source": 0,
      "snapshot": false,
      "type": "process-hash"
    },
    {
      "id": 2,
      "hash": "01200102030405060708091011121314151617181920212223242526272829303132",
      "source": 0,
      "snapshot": false,
      "type": "process-hash"
    }
  ],
  "href": null,
  "type": "process"
},
```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。

401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
404	指定された {id} のプロセスが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

## 例

Request: DELETE /rest/processes/1

Response: 204 No content

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはプロセス・セットを変更する権限がありません。
404	指定された {id} のプロセスが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	プロセスに対する変更が別のプロセスと競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
-----	---

## スキーマ

プロセス・コレクション・スキーマの *process* オブジェクトおよび *process-hash* オブジェクトを参照してください。変更: *type* と *id* のみが両方のオブジェクト・タイプの必須フィールドです。

## 例

Request: PATCH /rest/processes/1

```
{
  "type": "process",
  "id": 1,
  "name": "ProcessA-BC"
}
```

Response: 205 Reset content

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはプロセス・セットを変更する権限がありません。
404	指定された {id} のプロセスが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	プロセスに対する変更が別のプロセスと競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

プロセス・コレクション・スキーマの *process* オブジェクトおよび *process-hash* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: PUT /rest/processes/2

```
{
  "id": 2,
  "name": "newProcess",
  "path": "/home/bin/newProcess",
  "version": "1.1",
  "os": 1,
  "distribution": 2,
  "source": 0,
  "snapshot": false,
  "rows": [
    {
      "id": 4,
      "hash":
"01200102030405060708091011121314151617181920212223242526272829303132",
      "source": 0,
      "snapshot": false,
      "type": "process-hash"
    },
    {
      "id": 5,
      "hash":
"01200102030405060708091011121314151617181920212223242526272829303132",
      "source": 0,
      "snapshot": false,
      "type": "process-hash"
    }
  ],
  "type": "process"
}
```

Response: 205 Reset content

## /selectors

使用可能なすべてのセレクター

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、構成されたすべてのセレクターが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "name", "notes", "snapshot", "rows", "href" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "selector" ] },
        "id": "number",
        "name": "string",
        "notes": "string",
        "snapshot": "boolean",
        "source": "number",
        "rows": {
          "type": [ "array" ],
          "minItems": 0,
          "uniqueItems": true,
          "items": [
            {
              "type": "object",
              "required": [ "type", "id", "order",
"user", "group", "external_group", "process_set", "snapshot" ],
              "additionalProperties": false,
              "properties": {
                "type": { "enum": [ "selector-row" ] },
                "id": "number",
                "order": "number",
                "user": "string",
                "group": "string",
                "external_group": "boolean",
                "process_set": {
                  "type": "object",
                  "required": [ "type", "id", "href" ],
                  "additionalProperties": true,
                  "properties": {
                    "type": { "enum": [ "ref" ] },
                    "id": "number",
                    "href": "string"
                  }
                }
              },
              "source": "number",
              "snapshot": "boolean"
            }
          ]
        }
      }
    }
  ]
}
```

## 例

Request: GET /rest/selectors

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": 2,
    "name": "selector1",
    "notes": "",
    "snapshot": false,
    "source": 0,
    "rows": [
      {
        "id": 2,
        "order": 1,
        "user": "user1",
        "group": null,
        "external_group": false,
        "process_set": {
          "id": 0,
```

```

        "href": "/rest/processsets/0",
        "type": "ref"
      },
      "source": 0,
      "snapshot": false,
      "type": "selector-row"
    },
    {
      "id": 3,
      "type": "selector-row",
      "order": 2,
      "user": "sfc1",
      "group": null,
      "external_group": false,
      "process_set": null,
      "snapshot": false,
      "source": 0
    }
  ],
  "href": null,
  "type": "selector"
}
]

```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	セクターが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規セクターの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはセクターを作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規セクターが既存セクターの名前または id と競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

セクター・コレクション・スキーマの *selector* オブジェクトおよび *selector-row* オブジェクトを参照してください。**変更:** いずれのオブジェクト・タイプでも *id* は必須ではなく、設定もしないでください。

### 例

```

Request: POST /rest/selectors

{
  "type": "selector",

```

```

"name": "sfcUsers2",
"notes": "Manual copy of selector for internal users",
"snapshot": false,
"source": 0,
"rows": [
  {
    "type": "selector-row",
    "order": 1,
    "user": "sfc0",
    "group": null,
    "external_group": false,
    "process_set": null,
    "snapshot": false,
    "source": 0
  },
  {
    "type": "selector-row",
    "order": 2,
    "user": "sfc1",
    "group": null,
    "external_group": false,
    "process_set": null,
    "snapshot": false,
    "source": 0
  }
]
}

```

Response: 201 Created | Location: /rest/selectors/3

## /selectors/{id}

特定のセレクター

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたセレクターが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のセレクターが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

セレクター・コレクション・スキーマの *selector* オブジェクトおよび *selector-row* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/selectors/3

Response: 200 OK

```
{
  "type": "selector",
  "id": 3,
  "name": "sfcUsers2",
  "notes": "Manual copy of selector for internal users",
  "snapshot": false,
  "source": 0,
  "rows": [
    {
      "type": "selector-row",
      "id": 5,
      "order": 1,
      "user": "sfc0",
      "group": null,
      "external_group": false,
      "process_set": null,
      "snapshot": false,
      "source": 0
    },
    {
      "type": "selector-row",
      "id": 6,
      "order": 2,
      "user": "sfc1",
      "group": null,
      "external_group": false,
      "process_set": null,
      "snapshot": false,
      "source": 0
    }
  ],
  "href": null
}
```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のセレクターが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。



## スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

### 例

```
Request: DELETE /rest/selectors/3
Response: 204 No content
```

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはセクターを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のセクターが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	セクターに対する変更が別のセクターと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

セクター・コレクション・スキーマの *selector* オブジェクトおよび *selector-row* オブジェクトを参照してください。変更: *type* と *id* のみが両方のオブジェクト・タイプの必須フィールドです。

### 例

```
Request: PATCH /rest/selectors/3
{
  "type": "selector",
  "id": 3,
  "notes": "Change to the notes field",
}
```

Response: 205 Reset content

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはセクターを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のセクターが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	セクターに対する変更が別のセクターと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

セクター・コレクション・スキーマの *selector* オブジェクトおよび *selector-row* オブジェクトを参照してください。

### 例

Request: PUT /rest/selectors/3

```
{
  "type": "selector",
  "id": 3,
  "name": "sfcUsers2",
  "notes": "Another change to the notes field",
  "snapshot": false,
  "source": 0,
  "rows": [
    {
      "type": "selector-row",
      "id": 5,
      "order": 1,
      "user": "sfc0",
      "group": null,
      "external_group": false,
    }
  ]
}
```

```

        "process_set": null,
        "snapshot": false,
        "source": 0
      },
      {
        "type": "selector-row",
        "id": 6,
        "order": 2,
        "user": "sfc1",
        "group": null,
        "external_group": false,
        "process_set": null,
        "snapshot": false,
        "source": 0
      }
    ]
  }
}

```

Response: 205 Reset content

## /keys

使用可能なすべての名前付き鍵

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、構成されたすべての名前付き鍵が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```

{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "name", "notes", "scope", "autogen", "versions" ],
      "additionalProperties": true,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "encryption-key" ] },
        "id": "number",
        "name": "string",
        "notes": "string",
        "scope": { "enum": [ "user", "internal" ] },

```

```

    "autogen": "boolean",
    "versions": {
      "type": [ "array" ],
      "minItems": 1,
      "uniqueItems": true,
      "items": [
        {
          "type": "object",
          "required": [ "id", "version", "current", "timestamp" ],
          "additionalProperties": false,
          "properties": {
            "id": "number",
            "version": "number",
            "current": "boolean",
            "timestamp": "number"
          }
        }
      ]
    }
  }
}
]
}

```

## 例

Request: GET /rest/keys

Response: 200 OK

```

[
  {
    "id": 1,
    "name": "keyA",
    "autogen": false,
    "versions": [
      {
        "id": 1,
        "version": 1,
        "current": true,
        "timestamp": 1478268524124
      }
    ],
    "scope": "user",
    "notes": "",
    "type": "encryption-key"
  },
  {
    "id": 2,
    "name": "keyB",
    "autogen": false,
    "versions": [
      {
        "id": 2,
        "version": 1,
        "current": true,
        "timestamp": 1478268526490
      }
    ],
    "scope": "user",
    "notes": "",
    "type": "encryption-key"
  }
]

```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
201	鍵が作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規鍵の URL が示されます。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは鍵を作成する権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	新規鍵が既存鍵の名前または id と競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

鍵コレクション・スキーマの *encryption-key* オブジェクトを参照してください。変更: *id* は必須ではなく、設定もしないでください。POST によって作成する鍵では、「*user*」範囲のみ使用できます。

## 例

Request: POST /rest/keys

```
{
  "type": "encryption-key",
  "name": "testKey",
  "notes": "Key for users in the test org",
  "scope": "user",
  "autogen": false
}
```

Response: 201 Created | Location: /rest/keys/1

## /keys/{id}

特定の名前付き鍵

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、要求された名前付き鍵が含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。

<b>404</b>	指定された {id} の名前付き鍵が見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

鍵コレクション・スキーマの *encryption-key* オブジェクトを参照してください。

## 例

```
Request: GET /rest/keys/1
Response: 200 OK

{
  "id": 1,
  "name": "keyA",
  "autogen": false,
  "versions": [
    {
      "id": 1,
      "version": 1,
      "current": true,
      "timestamp": 1478268524124
    }
  ],
  "scope": "user",
  "notes": "",
  "type": "encryption-key"
}
```

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは鍵を変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} の鍵が見つからず、かつ以前にも存在していません。

406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	鍵に対する変更が別の鍵と競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

鍵コレクション・スキーマの *encryption-key* オブジェクトを参照してください。変更: *type* と *id* のみが必須フィールドです。

## 例

Request: PATCH /rest/keys/1

```
{
  "type": "encryption-key",
  "id": 1,
  "name": "testKey-orig",
  "notes": "Original key for users in the test org"
}
```

Response: 205 Reset content

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは鍵を変更する権限がありません。
404	指定された {id} の鍵が見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	鍵に対する変更が別の鍵と競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
-----	---

## スキーマ

鍵コレクション・スキーマの *encryption-key* オブジェクトを参照してください。

## 例

```
Request: PUT /rest/keys/1

{
  "id": 1,
  "name": "testKey",
  "autogen": false,
  "versions": [
    {
      "id": 3,
      "version": 1,
      "current": true,
      "timestamp": 1478547390464
    }
  ],
  "scope": "user",
  "notes": "Key for users in the test org",
  "type": "encryption-key"
}

Response: 205 Reset content
```

## /groupscopes

外部グループ・メンバーシップ範囲

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、構成されたすべてのグループ範囲が含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

```
{
  "type": "array",
```



```

    "minItems": 0,
    "uniqueItems": true,
    "items": [
      {
        "type": "object",
        "required": [ "type", "name", "host", "port",
"secure", "bind_dn", "bind_password", "groups_dn", "users_dn" ],
        "additionalProperties": false,
        "properties": {
          "type": { "enum": [ "group-scope" ] },
          "name": "string",
          "host": "string",
          "port": "number",
          "secure": "boolean",
          "bind_dn": "string",
          "bind_password": "string",
          "groups_dn": "string",
          "users_dn": "string"
        }
      }
    ]
  }
}

```

## 例

Request: GET /rest/groupsscopes

Response: 200 OK

```

[
  {
    "type": "group-scope",
    "name": "ldap",
    "host": "192.168.4.223",
    "port": 389,
    "secure": false,
    "bind_dn": "cn=admin,ou=Users,dc=example,dc=com",
    "bind_password": null,
    "users_dn": "ou=Users,dc=example,dc=com",
    "groups_dn": "ou=Groups,dc=example,dc=com"
  }
]

```

## /groupsscopes/{name}

特定のグループ範囲

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたグループ範囲が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {name} のグループ範囲が見つからず、かつ以前にも存在していません。

<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

グループ範囲コレクション・スキーマの *group-scope* オブジェクトを参照してください。

## 例

```
Request: GET /rest/groupsscopes/ldap
Response: 200 OK
{
  "type": "group-scope",
  "name": "ldap",
  "host": "192.168.4.223",
  "port": 389,
  "secure": false,
  "bind_dn": "cn=admin,ou=Users,dc=example,dc=com",
  "bind_password": null,
  "users_dn": "ou=Users,dc=example,dc=com",
  "groups_dn": "ou=Groups,dc=example,dc=com"
}
```

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはグループ範囲を変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {name} のグループ範囲が見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
------------	---

## スキーマ

グループ範囲コレクション・スキーマの *group-scope* オブジェクトを参照してください。変更: *type* と *name* のみが必須フィールドです。

## 例

Request: PATCH /rest/groupsscopes/ldap

```
{
  "type": "group-scope",
  "name": "ldap",
  "port": 636,
  "secure": true,
}
```

Response: 205 Reset content

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはグループ範囲を変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {name} のグループ範囲が見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

グループ範囲コレクション・スキーマの *group-scope* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: PUT /rest/groupscores/ldap

```
{
  "type": "group-scope",
  "name": "ldap",
  "host": "192.168.4.223",
  "port": 636,
  "secure": true,
  "bind_dn": "cn=admin,ou=Users,dc=example,dc=com",
  "bind_password": null,
  "users_dn": "ou=Users,dc=example,dc=com",
  "groups_dn": "ou=Groups,dc=example,dc=com"
}
```

Response: 205 Reset content

## /groupsets

使用可能なすべてのグループ・セット。

.

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、構成されたすべてのグループ・セットが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "policy_binding_id", "groups" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "group-set" ] },
        "id": "number",
        "policy_binding_id": "number",
        "groups": {
```

```

        "type": [ "array" ],
        "minItems": 0,
        "uniqueItems": true,
        "items": [
            {
                "type": "object",
                "required": [ "type", "name", "members" ],
                "additionalProperties": false,
                "properties": {
                    "type": { "enum": [ "group " ] },
                    "name": "string",
                    "members": {
                        "type": [ "array" ],
                        "minItems": 0,
                        "uniqueItems": true,
                        "items": [
                            {
                                "type":
"string",
                                }
                            ]
                        }
                    }
                ]
            }
        ]
    }
}

```

## 例

Request: GET /rest/groupsets

Response: 200 OK

```

[
  {
    "type": "group-set",
    "id": 1,
    "policy_binding_id": 1,
    "groups": [
      {
        "type": "group",
        "name": "users",
        "members": [
          "user0",
          "anotheruser",
          "root",
          "someone"
        ]
      }
    ]
  }
]

```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	グループ・セットが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規グループ・セットの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはグループ・セットを作成する権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

グループ・セット・コレクション・スキーマの *group-set* オブジェクトを参照してください。変更: *type* および *policy\_binding\_id* のみを *POST* で送信する必要があります。その他のすべてのフィールドはサーバー・サイドで生成されます。

## 例

Request: *POST /rest/groupsets*

```
{
  "type": "group-set",
  "policy_binding_id": 1
}
```

Response: 201 Created | Location: */rest/groupsets/3*

## /groupsets/{id}

特定のグループ・セット

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、要求されたグループ・セットが含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
404	指定された {id} のグループ・セットが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
------------	---

## スキーマ

グループ・セット・コレクション・スキーマの *group-set* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/groupsets/3

Response: 200 OK

```
{
  "type": "group-set",
  "id": 3,
  "policy_binding_id": 1,
  "groups": [
    {
      "type": "group",
      "name": "users",
      "members": [
        "user1",
        "user2",
        "user3"
      ]
    }
  ]
}
```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のグループ・セットが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

## 例

Request: DELETE /groupsets/3

Response: 204 No content

## /datatypes

使用可能なすべてのデータ・タイプ

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、構成されたすべてのデータ・タイプが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "name",
"notes", "snapshot", "source", "rows" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "data-type" ] },
        "id": "number",
        "name": "string",
        "notes": "string",
        "snapshot": "boolean",
        "source": "number",
        "rows": {
          "type": [ "array" ],
          "minItems": 0,
          "uniqueItems": true,
          "items": [
            {
              "type": "object",
              "required": [ "type", "id",
"datatype_id", "order", "selector", "ops", "actions", "notes",
"override_flags", "snapshot", "source" ],
              "additionalProperties": true,
```



```

        "properties": {
          "type": { "enum": [ "data-type-row" ] },
          "id": "number",
          "datatype_id": "number",
          "order": "number",
          "selector": {
            "type": "object",
            "required": [ "type", "id", "href" ],
            "additionalProperties": true,
            "properties": {
              "type": { "enum": [ "ref" ] },
              "id": "number",
              "href": "string"
            }
          },
          "ops": { "enum": [ "read", "write", "read/write" ] },
          "actions": { "enum": [ "permit",
"permit, log", "deny", "deny, log" ] },
          "notes": "string",
          "override_flags": {
            "type": "object",
            "required": "required": [ "type" ],
            "additionalProperties": true,
            "properties": {
              "type": { "enum": [ "override-flag-map" ] }
            }
          },
          "source": "number",
          "snapshot": "boolean"
        }
      }
    ]
  }
}

```

## オーバーライド・フラグ

データ・タイプの各フィールドに、対応するオーバーライド・フラグ値を指定します。許可される値 (以下で定義) 「may」、「may\_not」、および「must」の場合、これらの値はそれぞれ、エージェント・ポリシー・バインディングによってデータ・タイプの値を上書きできる、上書きできない、または上書きする必要があることを示します。データ・タイプ ID、行 ID、列 ID をマッピングのフィールド名にエンコードすることにより、フラグがデータ・タイプの特定のフィールドに相関付けられます。

POST または PUT のデータ・タイプ行でマッピングに値が指定されていない場合、フラグは「may\_not」として保存されます。マップ値がない場合、PATCH では未変更のままにするとみなされます。

## オーバーライド・フラグ値と意味

フラグ値	意味
<b>may</b>	エージェント・ポリシー・バインディングに別の値が設定されている場合、そのバインディング値が使用されます。そうでない場合は、データ・タイプ行で定義されている値が使用されます。
<b>may_not</b>	エージェント・ポリシー・バインディングに別の値が設定されているかどうかに関係なく、データ・タイプ行で定義されている値が使用されます。
<b>must</b>	エージェント・ポリシー・バインディングで、有効にする別の値を設定する必要があります。データ・タイプ行自体に保存されている値は使用されません。

## オーバーライド・フラグ・フィールド名のエンコーディング

マッピングのフィールド名は、データ・タイプ ID、データ・タイプ行 ID、および列 ID (以下で定義) を各値のプレフィックスとともに順に連結することで作成されます。つまり、x、y、および z をそれぞれデー

タ・タイプ ID、データ・タイプ行 ID、および列 ID とする場合、オーバーライド・フラグのフィールド名は、x、y、および z を文字列「dxrycz」(括弧なし)に置換することで指定されます。

データ・タイプ行の最初の POST では、含まれる行と含まれるデータ・タイプにフラグを適用することを暗黙に示すために、データ・タイプ ID とデータ・タイプ行 ID を 0 として指定できます。

行フィールド	列 ID
<b>selector</b>	1
<b>ops</b>	2
<b>actions</b>	3

### オーバーライド・フラグ例

以下では、データ・タイプ 1、データ・タイプ行 1 に対して次のようなオーバーライド・フラグを定義しています。

- 行セレクターがオーバーライドされないようにする
- 行操作がオーバーライドされる必要がある
- 行アクションがオーバーライドされる (またはされない) ことを許可する

```
"override_flags": {
  "d1r1c1": "may_not",
  "d1r1c2": "must",
  "d1r1c3": "may",
  "type": "override-flag-map"
},
```

### 例

Request: GET /rest/datatypes

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": 1,
    "name": "testDatatype",
    "notes": "",
    "source": 0,
    "snapshot": false,
    "rows": [
      {
        "id": 1,
        "datatype_id": 1,
        "order": 1,
        "selector": {
          "id": 3,
          "href": "/rest/selectors/3",
          "type": "ref"
        },
        "ops": "read/write",
        "actions": "permit",
        "override_flags": {
          "d1r1c1": "may_not",
          "d1r1c2": "may_not",
          "d1r1c3": "may_not",
          "type": "override-flag-map"
        },
        "notes": "",
        "source": 0,
        "snapshot": false,
        "type": "data-type-row"
      }
    ],
    "type": "data-type"
  }
]
```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	データ・タイプが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規ポリシーの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはデータ・タイプを作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

ポリシー・コレクション・スキーマの *policy* オブジェクトおよび *policy-row* オブジェクトを参照してください。変更: いずれのオブジェクト・タイプでも *id* は必須ではなく、設定もしないでください。

### 例

Request: POST /rest/datatypes

```
{
  "name": "testDatatype",
  "notes": "",
  "source": 0,
  "snapshot": false,
  "rows": [
    {
      "order": 1,
      "selector": {
        "id": 3,
        "href": "/rest/selectors/3",
        "type": "ref"
      },
      "ops": "read/write",
      "actions": "permit",
      "override_flags": {
        "d0r0c1": "may_not",
        "d0r0c2": "may_not",
        "d0r0c3": "may_not",
        "type": "override-flag-map"
      },
      "notes": "",
      "source": 0,
      "snapshot": false,
      "type": "data-type-row"
    }
  ],
  "type": "data-type"
}
```

## /datatypes/{id}

特定のデータ・タイプ

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたデータ・タイプが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のデータ・タイプが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

ポリシー・コレクション・スキーマの *policy* オブジェクトおよび *policy-row* オブジェクトを参照してください。

### 例

Request: GET /rest/datatypes/1

Response: 200 OK

```
{
  "id": 1,
  "name": "testDatatype",
  "notes": "",
  "source": 0,
  "snapshot": false,
  "rows": [
    {
      "id": 1,
      "datatype_id": 1,
      "order": 1,
      "selector": {
        "id": 3,
        "href": "/rest/selectors/3",
        "type": "ref"
      },
      "ops": "read/write",
    }
  ]
}
```

```

    "actions": "permit",
    "override_flags": {
      "d1r1c1": "may_not",
      "d1r1c2": "may_not",
      "d1r1c3": "may_not",
      "type": "override-flag-map"
    },
    "notes": "",
    "source": 0,
    "snapshot": false,
    "type": "data-type-row"
  },
  "type": "data-type"
}

```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のデータ・タイプが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

### 例

```

Request: DELETE /rest/datatypes/1
Response: 204 No content

```

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはデータ・タイプを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のデータ・タイプが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	ポリシーに対する変更が別のポリシーと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

データ・タイプ・コレクション・スキーマの *data-type* オブジェクトおよび *data-type-row* オブジェクトを参照してください。変更: *type* と *id* のみが両方のオブジェクト・タイプの必須フィールドです。

## 例

```
Request: PATCH /rest/datatypes/1

{
  "id": 1,
  "name": "newDatatypeName",
  "notes": "new datatype notes",
  "type": "data-type"
}

Response: 205 Reset content
```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。

<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはデータ・タイプを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のデータ・タイプが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	データ・タイプに対する変更が別のデータ・タイプと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

データ・タイプ・コレクション・スキーマの *data-type* オブジェクトおよび *data-type-row* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: PUT /rest/datatypes/1

Response: 205 Reset content

```
{
  "id": 1,
  "name": "testDatatype",
  "notes": "updated with new selector and overrides",
  "source": 0,
  "snapshot": false,
  "rows": [
    {
      "id": 1,
      "datatype_id": 1,
      "order": 1,
      "selector": {
        "id": 4,
        "href": "/rest/selectors/4",
        "type": "ref"
      },
      "ops": "read/write",
      "actions": "permit",
      "override_flags": {
        "d1r1c1": "may",
        "d1r1c2": "may",
        "d1r1c3": "may",
        "type": "override-flag-map"
      },
      "notes": "",
      "source": 0,
      "snapshot": false,
      "type": "data-type-row"
    }
  ],
  "type": "data-type"
}
```





# 第 8 章 管理対象エージェント

## /agents

すべての管理対象エージェント

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、すべての既知の管理対象エージェントが含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "name",
"agent_type", "cores", "host", "peer_host", "uuid",
"state", "notes", "certificates",
"policy", "install_bundle", "snapshots",
"additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "agent" ] },
        "id": "number",
        "name": "string",
        "agent_type": { "enum": [ "volume",
"file", "hybrid", "objstore" ] },
        "cores": "number",
        "host": "string",
        "peer_host": "string",
        "uuid": "string",
        "state": { "enum": [ "ACTIVE",
"WAITING", "INACTIVE" ] },
        "notes": "string",
        "certificates": {
          "type": [ "array" ],
          "minItems": 0,
```

```

        "uniqueItems": true,
        "items": [
            {
                "type": "object",
                "required": ["type", "id",
"agent_id", "fingerprint", "state", "notes" ],
                "additionalProperties": true,
                "properties": {
                    "type": { "enum":
[ "agent-certificate" ] },
                    "id": "number",
                    "agent_id": "number",
                    "subject": "string",
                    "fingerprint": "string",
                    "expiry": "number",
                    "has_privkey": "boolean",
                    "state": { "enum":
[ "ACTIVE", "WAITING", "INACTIVE" ] },
                    "notes": "string"
                }
            }
        ]
    },
    "policy": {
        "type": "array",
        "minItems": 0,
        "uniqueItems": true,
        "items": [
            {
                "type": { "enum": [ "volume-policy" ] },
                "id": "number",
                "agent_id": "number",
                "device_label": "string",
                "mofn": { "enum": [ "1:1" ] },
                "key": "string"
            },
            {
                "type": { "enum": [ "file-policy" ] },
                "id": "number",
                "agent_id": "number",
                "path": "string",
                "key": "string",
                "data_type_id": "number",
                "path_set_id": "number",
                "group_set_id": "number",
                "variables": {
                    "type": "object",
                    "required": [],
                    "additionalProperties": true
                }
            }
        ]
    },
    "install_bundle": {
        "type": { "enum": [ "install-bundle" ] },
        "id": "number",
        "agent_id": "number",
        "operating_system": { "enum":
[ "centos-6x", "centos-7x", "windows" ] },
        "authorized_users": {
            "type": [ "array" ],
            "minItems": 0,
            "uniqueItems": true,
            "items": [
                { "type": "string" }
            ]
        },
        "supported_formats": {
            "type": [ "array" ],
            "minItems": 0,
            "uniqueItems": true,
            "items": [
                { "type": "string" }
            ]
        }
    },
    "object_store": {
        "mofn": "2:3", "1:1", "2:4"
        "certificates": {
            "type": [ "array" ],
            "minItems": 0,
            "uniqueItems": true,

```

```

        "items": [
            {
                "type": "object",
                "required": ["type", "id",
"agent_id", "fingerprint", "state", "notes" ],
                "additionalProperties": true,
                "properties": {
                    "type": { "enum": [ "agent-certificate" ] },
                    "id": "number",
                    "agent_id": "number",
                    "subject": "string",
                    "fingerprint": "string",
                    "expiry": "number",
                    "has_privkey": "boolean",
                    "state": { "enum":
[ "ACTIVE", "WAITING", "INACTIVE" ] },
                    "notes": "string"
                }
            }
        ],
        "backends": [{
            "url": "string",
            "key_id": "string",
            "api_key": "string",
            "auth_type": "S3-IBM4", "Se-AMZ4", "SWIFT"
            "share": "number",
        }
    ],
    "credentials": [{
        "key_id": "string",
        "access_key": "string",
        "auth_type": "S3-IBM4", "Se-AMZ4", "SWIFT"
    }
],
    "buckets": [{
        "name": "string",
        "log_denial": true,
        "policy": [{
            "cred_id": "string",
            "access": "string",
            "log": "boolean",
        }
    ]
},
    "policy_snapshots": {
        "type": [ "array" ],
        "minItems": 0,
        "uniqueItems": true,
        "items": [
            {
                "type": "object",
                "required": ["type", "id",
"policy", "state", "notes" ],
                "additionalProperties": true,
                "properties": {
                    "type": { "enum":
[ "policy-snapshot" ] },
                    "id": "number",
                    "state": { "enum":
[ "ACTIVE", "WAITING", "ACTIVATING",
"INACTIVE" ] },
                    "notes": "string",
                    "policy": {
                        "type": "array",
                        "minItems": 0,
                        "uniqueItems": true,
                        "items": [
                            {
                                "type":
{ "enum": [ "volume-policy" ] },
                                "id": "number",
                                "agent_id": "number",
                                "device_label": "string",
                                "moFn": { "enum": [ "1:1" ] },
                                "key": "string"
                            }
                        ],
                    }
                }
            }
        ],
        "type":
{ "enum": [ "file-policy" ] },
        "id": "number",
    }
}

```



```

"peer_host": "1.1.1.10",
"uuid": "9faae641-347c-4f05-b47e-202b7430969d",
"state": "ACTIVE",
"notes": "",
"certificates": [
  {
    "id": 1,
    "agent_id": 1,
    "subject": null,
    "fingerprint": "a15b027baaa1182b32e160dff4955bb2064d2d0b",
    "expiry": null,
    "has_privkey": null,
    "state": "ACTIVE",
    "notes": "",
    "type": "agent-certificate"
  }
],
"policy": [
  {
    "id": 1,
    "agent_id": 1,
    "path": "/home/path",
    "key": "homekey",
    "data_type_id": 1,
    "group_set_id": 0,
    "path_set": null,
    "variables": {
      "d1r1c1": "2",
      "d1r1c3": "permit"
    },
    "type": "file-policy"
  },
  {
    "id": 2,
    "agent_id": 1,
    "path": "/data/path",
    "key": "datakey",
    "data_type_id": 1,
    "group_set_id": 0,
    "path_set": null,
    "variables": {
      "d1r1c1": "3",
      "d1r1c3": "deny, log"
    },
    "type": "file-policy"
  }
],
"install_bundle": {
  "id": 1,
  "agent_id": 1,
  "operating_system": "centos-6x",
  "authorized_users": [
    "admin"
  ],
  "supported_formats": [
    "application/x-tar",
    "application/zip",
    "application/json"
  ],
  "type": "install-bundle"
},
"policy_snapshots": [
  {
    "id": 1,
    "notes": "",
    "state": "ACTIVE",
    "policy": [
      {
        "id": 3,
        "agent_id": 1,
        "path": "/home/path",
        "key": "homekey",
        "data_type_id": 2,
        "group_set_id": 0,
        "path_set": null,
        "variables": {},
        "type": "file-policy"
      },
      {
        "id": 4,
        "agent_id": 1,
        "path": "/data/path",

```

```

        "key": "datakey",
        "data_type_id": 3,
        "group_set_id": 0,
        "path_set": null,
        "variables": {},
        "type": "file-policy"
    },
    {
        "type": "policy-snapshot"
    }
],
"features": {
    "policy": {
        "has_feature": true,
        "state": 1,
        "type": "agent_feature_status"
    },
    "volume": {
        "has_feature": false,
        "state": 0,
        "type": "agent_feature_status"
    },
    "su_block": {
        "has_feature": true,
        "state": 1,
        "type": "agent_feature_status"
    },
    "objstore": {
        "has_feature": false,
        "state": 0,
        "type": "agent_feature_status"
    },
    "type": "agent_feature"
},
"tools": [
    {
        "tool_id": 1,
        "purpose": "BACKUP",
        "key": "toolKeyA",
        "active": true,
        "type": "agent_tool"
    },
    {
        "tool_id": 2,
        "purpose": "RESTORE",
        "key": "toolKeyA",
        "active": true,
        "type": "agent_tool"
    }
]
]

```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	エージェントが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規ユーザーの URL が示されます。
<b>202</b>	エージェントは非同期ジョブで作成されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。

400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行エージェントは新規ユーザーを作成する権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	新規エージェントが既存エージェントと競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent* オブジェクトを参照してください。

## 注釈

**uuid** フィールドには 16 進文字のみ指定し、ハイフン区切りの 8-4-4-4-12 形式で表記する必要がありますが、バリエーションと名前空間の制約に関するより詳細な検証は行われません。

## 例

### Request: POST /rest/agents

```
{
  "name": "volumeAgent",
  "agent_type": "volume",
  "host": "1.1.1.1",
  "peer_host": "1.1.1.10",
  "uuid": "caca0d57-1f6a-4663-a2c7-e9b9591e48f5",
  "notes": "",
  "certificates": [
    {
      "has_privkey": true,
      "content_type": "application/x-pem-file",
      "subject": "CN=localhost,OU=Development,O=Test.,L=Test,ST=CA,C=US",
      "fingerprint": "a15b027baaa1182b32e160dff4955bb2064d2d0b",
      "name": "http.pem",
      "expiry": 1478733066000,
      "id": 3,
      "type": "client-file",
      "href": "/rest/files/upload/3"
    }
  ],
  "policy": [
    {
      "key": "webkey",
      "type": "volume-policy",
      "device_label": "webroot"
    },
    {
      "key": "nfskey",
      "type": "volume-policy",
      "device_label": "nfsshare"
    }
  ],
  "install_bundle": {
    "operating_system": "centos-7x",
    "authorized_users": ["admin"],
    "type": "install-bundle"
  },
  "policy_snapshots": [],
  "tools": [
    {

```

```
    "purpose": "BACKUP",
    "key": "toolKeyA",
    "active": true,
    "type": "agent_tool"
  }
]
}
```

Response: 202 Accepted | Location: /jobs/23

## /agents/{id}

特定の管理対象エージェント

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェントが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent* オブジェクトを参照してください。

#### 例

**Request: GET /rest/agents/4**

**Response: 200 OK**

```
{
  "id": 4,
  "name": "volumeAgent",
  "agent_type": "volume",
  "host": "1.1.1.1",
  "peer_host": "1.1.1.10",
  "uuid": "caca0d57-1f6a-4663-a2c7-e9b9591e48f5",
  "notes": "",
  "certificates": [
    {
      "subject": "CN=localhost,OU=Development,
0=Test.,L=Test,ST=CA,C=US",
      "fingerprint":
```



```

"a15b027baaa1182b32e160dff4955bb2064d2d0b",
  "expiry": 1478733066000,
  "id": 6,
  "type": "agent-certificate"
},
{
  "policy": [
    {
      "id": 13,
      "agent_id": 4,
      "key": "webkey",
      "device_label": "webroot",
      "mofn": "1:1",
      "type": "volume-policy"
    },
    {
      "id": 14,
      "agent_id": 4,
      "key": "nfskey",
      "device_label": "nfsshare",
      "mofn": "1:1",
      "type": "volume-policy"
    }
  ],
  "install_bundle": {
    "id": 5,
    "agent_id": 4,
    "operating_system": "centos-7x",
    "authorized_users": ["admin"],
    "supported_formats": [
      "application/x-tar",
      "application/zip",
      "application/json"
    ],
    "type": "install-bundle"
  },
  "policy_snapshots": [],
  "features": {
    "policy": {
      "has_feature": true,
      "state": 1,
      "type": "agent_feature_status"
    },
    "volume": {
      "has_feature": false,
      "state": 0,
      "type": "agent_feature_status"
    },
    "su_block": {
      "has_feature": true,
      "state": 1,
      "type": "agent_feature_status"
    },
    "objstore": {
      "has_feature": false,
      "state": 0,
      "type": "agent_feature_status"
    },
    "type": "agent_feature"
  },
  "type": "agent"
},
{
  "tools": []
}

```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
-----	----

202	削除を処理するためにジョブが作成されました。ジョブの URL については、 <b>Location</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
404	指定された {id} のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

## 例

Request: DELETE /rest/agents/4

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/9

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはエージェントを変更する権限がありません。
404	指定された {id} のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	エージェントに対する変更が別のエージェントと競合しています。

424	エージェントを承認するためのオープンなライセンス・スロットが十分にありません。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent* オブジェクトを参照してください。変更: *type* と *id* のみが必須フィールドです。

## 例

Request: PATCH /rest/agents/4

```
{
  "type": "agent",
  "id": 4,
  "state": "ACTIVE"
}
```

Response: 205 Reset Content

## /agents/{id}/certificates

特定の管理対象エージェントの既知の証明書

## GET

### 照会パラメーター

・ パラメーター	・ 説明
・ <none>	・

### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、要求されたエージェント証明書が含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
404	指定された {id} のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。証明書フィールドは、フィールドが空の場合でも現存のエージェントに対して常に存在します。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent-certificate* オブジェクトを参照してください。

### 例

Request: GET /rest/agents/4/certificates

Response: 200 OK

```
[
  {
    "subject": "CN=localhost,OU=Development,O=Test.,L=Test,ST=CA,C=US",
    "fingerprint": "a15b027baaa1182b32e160dff4955bb2064d2d0b",
    "expiry": 1478733066000,
    "id": 6,
    "type": "agent-certificate"
  }
]
```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	証明書が作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規証明書の URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは証明書を作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規証明書が既存証明書と競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent-certificate* オブジェクトを参照してください。変更: *id* は必須ではなく、設定もしないでください。

### 例

Request: POST /rest/agents/4/certificates

```
{
  "id": 4,
  "type": "client-file",
  "href": "/rest/files/upload/4"
  "notes": "After expiration, contact person@example.com for a new one"
}
```

Response: 201 Created | Location: /rest/agents/4/certificates/7

## /agents/{id}/certificates/{certid}

特定の管理対象エージェントの証明書

•

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント証明書が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された{id}のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していないか、指定されたエージェントに対して、指定された{certid}の証明書が見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent-certificate* オブジェクトを参照してください。

#### 例

Request: GET /rest/agents/4/certificates/7

Response: 200 OK

```
{
  "id": 7,
  "state": "ACTIVE",
  "subject": "CN=localhost2,OU=Development,O=Test.,L=Test,ST=CA,C=US",
  "fingerprint": "b88b327ba3a3182b32e160dff4955bb2064d2d1f",
  "expiry": 1478733066676,
  "has_privkey": true,
  "notes": "After expiration, contact person@example.com for a new one"
  "type": "agent-certificate"
}
```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	削除を処理するためにジョブが作成されました。ジョブの URL については、 <b>Location</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していないか、指定されたエージェントに対して、指定された {certid} の証明書が見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

### 例

Request: DELETE /rest/agents/4/certificates/7

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/33

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはエージェント証明書を作成する権限がありません。
404	指定された{id}のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していないか、指定されたエージェントに対して、指定された{certid}の証明書が見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	エージェントに対する変更が別のエージェントと競合しています。
424	エージェントを承認するためのオープンなライセンス・スロットが十分にありません。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent* オブジェクトを参照してください。変更: *type* と *id* のみが必須フィールドです。

## 例

```
Request: PATCH /rest/agents/4/certificates/7

{
  "type": "agent-certificate",
  "id": 7,
  "state": "ACTIVE",
  "notes": "Expires 2017-04-28,
  contact jack@example.com for a new one. Activated 2016-04-15."
}

Response: 205 Reset Content
```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。

403	現行ユーザーはポリシーを作成する権限がありません。
404	指定された{id}のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	エージェントに対する変更が別のエージェントと競合しています。
424	エージェントを承認するためのオープンなライセンス・スロットが十分にありません。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: PUT /rest/agents/4/certificates/1

```
{
  "id": 7,
  "state": "ACTIVE",
  "subject": "CN=localhost2,OU=Development,O=Test.,L=Test,ST=CA,C=US",
  "fingerprint": "b88b327ba3a3182b32e160dff4955bb2064d2d1f",
  "expiry": 1478733066676,
  "has_privkey": true,
  "notes": " Expires 2017-04-28,
contact jill@example.com for a new one. Activated 2016-04-15."
  "type": "agent-certificate"
}
```

Response: 205 Reset Content

## /agents/{id}/install\_bundle

エージェントのインストール・バンドル

エージェント・インストール・バンドルはユーザーが制限されたリソースです。バンドルの `authorized_users` リストに含まれているユーザーのみが、これを読み取ることができます。

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
-----	----



<b>200</b>	送信される <b>Accept</b> ヘッダーに応じて、要求されたエージェント・インストール・バンドルまたはインストール・バンドル・メタデータが応答本文に含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。install_bundle フィールドは現存のエージェントに対して常に存在します。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。type <b>application/json</b> を指定して <b>Accept</b> ヘッダーを送信すると、返される JSON データに受け入れ可能なタイプの文字列がリストされます。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *install-bundle* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/agents/4/install\_bundle

Response: 200 OK

```
{
  "id": 4,
  "agent_id": 4,
  "operating_system": "centos-7x",
  "authorized_users": ["admin"],
  "supported_formats": [
    "application/x-tar",
    "application/zip",
    "application/json"
  ],
  "expiry": 1478733066000,
  "type": "install-bundle"
}
```

Request: GET /rest/agents/4/install\_bundle | Accept: application/x-tar

Response: 200 OK (binary content - tar file with agent installer and configuration)

## /agents/{id}/install\_bundle/authorized\_users

インストール・バンドル許可ユーザー・リスト

.

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
--------	----

<なし>	
------	--

## 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・インストール・バンドル許可ユーザー・リストが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。install_bundle フィールドおよび install_bundle/authorized_users フィールドは現存のエージェントに対して常に存在します。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *install-bundle* オブジェクトの *authorized\_users* フィールドを参照してください。

## 例

```
Request: GET /rest/agents/4/install_bundle/authorized_users
Response: 200 OK
[
  "admin"
]
```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。

403	現行ユーザーはインストール・バンドル許可ユーザーを変更する権限がありません。
404	指定された{id}のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *install-bundle* オブジェクトの *authorized\_users* フィールドを参照してください。

## 例

Request: PUT /rest/agents/4/install\_bundle/authorized\_users

```
[
  "admin",
  "wspoppleton",
  "zriggs"
]
```

Response: 205 Reset Content

## /agents/{id}/policy\_snapshots

エージェント・ポリシー・フィールドのスナップショット。スナップショットは不変であり、スナップショット作成時に事実上、ポリシーと同一になります (POST を参照)。スナップショット・オブジェクトに新規 ID が設定され、同様に変数のセットが新規オブジェクトに直接適用されている可能性があります、この場合も意味的に同じになります。

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、要求されたエージェント証明書が含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
404	指定された{id}のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。証明書フィールドは、フィールドが空の場合でも現存のエージェントに対して常に存在します。

<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *policy-snapshot* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/agents/4/policy\_snapshots

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": 1,
    "notes": "This is a file agent for the CentOS7.x file system",
    "state": "ACTIVE",
    "policy": [
      {
        "id": 11,
        "agent_id": 4,
        "path": "/mrslate/misc",
        "key": "public",
        "data_type_id": 6,
        "group_set_id": 0,
        "path_set": null,
        "variables": {},
        "type": "file-policy"
      },
      {
        "id": 12,
        "agent_id": 4,
        "path": "/mrslate/company",
        "key": "company",
        "data_type_id": 7,
        "group_set_id": 0,
        "path_set": null,
        "variables": {},
        "type": "file-policy"
      }
    ],
    "type": "policy-snapshot"
  }
]
```

## POST

新規ポリシー・スナップショットの作成

•

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	スナップショットが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規スナップショットの URL が示されます。

400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはスナップショットを作成する権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

空のオブジェクト

## 例

Request: PUT /rest/agents/4/policy\_snapshots/

{}

Response: 201 Created | Location: /rest/agents/4/policy\_snapshots/3

## /agents/{id}/policy\_snapshots/{snapshot\_id}

エージェント・ポリシー・フィールドのスナップショット。スナップショットは不変であり、スナップショット作成時に事実上、マスター・ポリシーと同一になります (POST を参照)。スナップショット・オブジェクトに新規 ID が設定され、同様に変数のセットが新規オブジェクトに直接適用されている可能性があります、この場合も意味的に同じになります。

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、要求されたエージェント・ポリシー・スナップショットが含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
404	指定された {id} のエージェントが見つからなかったか、エージェントに対して、指定された {snapshot_id} のスナップショットが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。

<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *policy-snapshot* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/agents/4/policy\_snapshots/3

Response: 200 OK

```
{
  "id": 1,
  "notes": "This is a file agent for the CentOS7.x file system",
  "state": "INACTIVE",
  "policy": [
    {
      "id": 11,
      "agent_id": 4,
      "path": "/mrslate/misc",
      "key": "public",
      "data_type_id": 6,
      "group_set_id": 0,
      "path_set": null,
      "variables": {},
      "type": "file-policy"
    },
    {
      "id": 12,
      "agent_id": 4,
      "path": "/mrslate/company",
      "key": "company",
      "data_type_id": 7,
      "group_set_id": 0,
      "path_set": null,
      "variables": {},
      "type": "file-policy"
    }
  ],
  "type": "policy-snapshot"
}
```

## PUT

エージェントに対してスナップショット・アクティブ化ジョブを開始します。ジョブの実行後、PUT の時点でアクティブなスナップショットが非アクティブになり、PUT のターゲットであるスナップショットがアクティブになります。ジョブが失敗した場合は、古いスナップショットがアクティブのままになります。

.

## 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。

400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはポリシー・スナップショットをアクティブ化する権限がありません。
404	指定された {id} のエージェントまたはスナップショットが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *install-bundle* オブジェクトの *policy\_snapshots* フィールドを参照してください。変更: *state* および *notes* のみ変更できます。

## 例

Request: PUT /rest/agents/4/policy\_snapshots/1

```
{
  "id": 1,
  "notes": "This is a file agent for the CentOS7.x file system",
  "state": "ACTIVE",
  "policy": [
    {
      "id": 11,
      "agent_id": 4,
      "path": "/mrslate/misc",
      "key": "public",
      "data_type_id": 6,
      "group_set_id": 0,
      "path_set": null,
      "variables": {},
      "type": "file-policy"
    },
    {
      "id": 12,
      "agent_id": 4,
      "path": "/mrslate/company",
      "key": "company",
      "data_type_id": 7,
      "group_set_id": 0,
      "path_set": null,
      "variables": {},
      "type": "file-policy"
    }
  ],
  "type": "policy-snapshot"
}
```

Response: 205 Reset Content

## DELETE

エージェント・ポリシー・スナップショットの削除

•

## 照会パラメーター

パラメーター	記述
--------	----

<なし>	
------	--

•

#### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントまたは指定された {snapshot_id} のスナップショットが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

•

#### スキーマ

なし。

•

#### 例

Request: GET /rest/agents/4/policy\_snapshots/1

Response: 204 No Content

## /agents/{id}/policy

エージェント保護マスター・ポリシー。これは、ポリシー・バインディング (パスまたはパス・セット、変数フィールド・オーバーライドのセット、およびさまざまな異なるポリシー・オブジェクトをバインドするオブジェクト) のリストです。

•

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
-----	----



<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・マスター・ポリシーが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *policy* フィールドを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/agents/4/policy

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": 13,
    "agent_id": 4,
    "key": "webkey",
    "device_label": "webroot",
    "mofn": "1:1",
    "type": "volume-policy"
  },
  {
    "id": 14,
    "agent_id": 4,
    "key": "nfskey",
    "device_label": "nfsshare",
    "mofn": "1:1",
    "type": "volume-policy"
  }
]
```

Request: GET /rest/agents/3/policy

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": 2,
    "agent_id": 3,
    "path": "/mrslate/misc",
    "key": "public",
    "data_type_id": 1,
    "group_set_id": 0,
    "path_set": null,
    "variables": {},
    "type": "file-policy"
  },
  {
    "id": 3,
    "agent_id": 3,
    "path": "/mrslate/company",
    "key": "company",
    "data_type_id": 7,
    "group_set_id": 3,
    "path_set": null,
    "variables": {
      "d7r2c1": "3",
      "d7r2c2": "permit, log",
    }
  }
]
```

```

        "d7r2c3": "read"
      },
      "type": "file-policy"
    }
  ]

```

## POST

新規ポリシー・バインディングの作成

•

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	バインディングが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規バインディングの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはバインディングを作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *file-policy* オブジェクトおよび *volume-policy* オブジェクトを参照してください。

### 例

Request: POST /rest/agents/3/policy/

```

{
  "agent_id": 3,
  "path": "/mrslate/company",
  "key": "company",
  "data_type_id": 7,
  "group_set_id": 3,
  "path_set": null,
  "variables": {
    "d7r2c1": "3",
    "d7r2c2": "permit, log",
    "d7r2c3": "read"
  },
  "type": "file-policy"
}

```

Response: 201 Created | Location: /rest/agents/3/policy/3

## /agents/{id}/policy/{binding\_id}

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・ポリシー・バインディングが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つからなかったか、指定された {binding_id} のマスター・ポリシーのバインディングがありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *file-policy* オブジェクトおよび *volume-policy* オブジェクトを参照してください。

#### 例

Request: GET /rest/agents/3/policy/3

Response: 200 OK

```
{
  "id": 3,
  "agent_id": 3,
  "path": "/mrslate/company",
  "key": "company",
  "data_type_id": 7,
  "group_set_id": 3,
  "path_set": null,
  "variables": {
    "d7r2c1": "3",
    "d7r2c2": "permit, log",
    "d7r2c3": "read"
  },
  "type": "file-policy"
}
```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはポリシー・バインディングを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントまたは指定された {binding_id} のバインディングが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *file-policy* オブジェクトおよび *volume-policy* オブジェクトを参照してください。

### 例

```
Request: PUT /rest/agents/3/policy/3
```

```
{
  "id": 3,
  "agent_id": 3,
  "path": "/mrslate/company",
  "key": "company",
  "data_type_id": 7,
  "group_set_id": 4,
  "path_set": null,
  "variables": {
    "d7r2c1": "4",
    "d7r2c2": "deny, log",
    "d7r2c3": "read"
  },
  "storage": null,
  "type": "file-policy"
}
```

```
Response: 205 Reset Content
```

```
Request: PUT /rest/agents/3/policy/3 (for adding storage object)
```

```
{
  "id": 3,
```

```

"agent_id": 3,
"path": "/mrslate/company",
"key": "company",
"data_type_id": 7,
"group_set_id": 4,
"storage": {
  "protocol": "smvb1",
  "host": "nfs.sfc.local",
  "share_path": "/sfc",
  "share_pass": "Passw0rd",
  "options": "port=112, sec=ext,noexec",
  "type": "network-share"
},
"type": "file-policy"
}

```

Response: 205 Reset Content

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはポリシー・バインディングを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントまたは指定された {binding_id} のバインディングが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *file-policy* オブジェクトおよび *volume-policy* オブジェクトを参照してください。

### 例

Request: PATCH /rest/agents/3/policy/3

```

{
  "group_set_id": 4,
  "variables": {

```

```
    "d7r2c1": "4",
    "d7r2c2": "deny, log",
    "d7r2c3": "read"
  },
  "type": "file-policy"
}

Response: 205 Reset Content

Request: PATCH /rest/agents/3/policy/3 (to reset the storage )

{
  "storage": {
    "id": 1,
    "protocol": "smb1",
    "host": "nfs.sfc.local",
    "share_path": "/sfc",
    "share_pass": "Passw0rd",
    "options": "port=112, sec=ext,noexec",
    "type": "network-share"
  },
  "type": "file-policy"
}

Response: 205 Reset Content
```

## DELETE

エージェント・ポリシー・バインディングの削除

•

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントまたは指定された {binding_id} のバインディングが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

なし。

## 例

Request: GET /rest/agents/3/policy/2

Response: 204 No Content

## /agents/{id}/policy/{binding\_id}/storage

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・ポリシー・バインディングが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つからなかったか、指定された {binding_id} のマスター・ポリシーのバインディングがありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの file-policy オブジェクトおよび storage オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/agents/3/policy/3/storage

Response: 200 OK

```
{
  "id": 84,
  "protocol": "smvb1",
  "host": "nfs.sfc.local",
  "share_path": "/sfc",
  "share_pass": "Passw0rd",
  "options": "port=112, sec=ext,noexec",
  "type": "network-share"
}
```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーにはエージェント機能の状況を変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントまたは指定された {binding_id} のバインディングまたは指定された {storage_id} のストレージが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの file-policy オブジェクトおよび storage オブジェクトを参照してください。

### 例

Request: PUT /rest/agents/3/policy/3/storage

```
{
  "id": 3,
  "path": "/mrslate/company",
  "key": "company",
  "data_type_id": 7,
  "group_set_id": 4,
  "storage": {
    "protocol": "smvb1",
    "host": "nfs.sfc.local",
    "share_path": "/sfc",
    "share_pass": "Passw0rd",
    "options": "port=112, sec=ext,noexec",
    "type": "network-share"
  },
  "type": "file-policy"
}
```

Response: 205 Reset Content



## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーにはエージェント機能の状況を変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントまたは指定された {binding_id} のバインディングまたは指定された {storage_id} のストレージ・オブジェクトが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの file-policy オブジェクトおよび storage オブジェクトを参照してください。

### 例

```
Request: PATCH /rest/agents/3/policy/3/storage
```

```
{
  "storage": {
    "id": 1,
    "protocol": "smvb1",
    "host": "nfs.sfc.local",
    "share_path": "/sfc",
    "share_pass": "Passw0rd",
    "options": "port=112, sec=ext,noexec",
    "type": "network-share"
  },
  "type": "file-policy"
}
```

```
Response: 205 Reset Content
```

# GET

## 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント機能が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーには権限がありません
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent\_feature* オブジェクトを参照してください。

## 例

```
Request: GET /rest/agents/1/features
Response: 200 OK
{
  "policy": {
    "has_feature": true,
    "state": 1,
    "type": "agent_feature_status"
  },
  "volume": {
    "has_feature": false,
    "state": 0,
    "type": "agent_feature_status"
  },
  "su_block": {
    "has_feature": true,
    "state": 1,
    "type": "agent_feature_status"
  },
  "objstore": {
    "has_feature": false,
    "state": 0,
    "type": "agent_feature_status"
  },
  "type": "agent_feature"
}
```

## </agents/{id}/features/{feature}>

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント機能が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーには権限がありません
<b>404</b>	指定された {id} と {feature} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent\_feature\_status* オブジェクトを参照してください。

#### 例

```
Request: GET /rest/agents/1/features/policy
```

```
Response: 200 OK
```

```
"policy": {  
  "has_feature": true,  
  "state": 1,  
  "type": "agent_feature_status"  
},
```

### PUT

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
-----	----

<b>202</b>	機能は非同期ジョブで更新されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーにはエージェント機能の状況を変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} と {feature} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent\_feature\_status* オブジェクトを参照してください。

## 例

```
Request: PUT /rest/agents/3/feature/policy
{
  "has_feature": true,
  "state": 0,
  "type": "agent_feature_status"
}

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9
```

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	機能は非同期ジョブで更新されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはポリシー・バインディングを変更する権限がありません。

404	指定された {id} と {feature} のエージェントが見つかりませんでした。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの `agent_feature_status` オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: PATCH /rest/agents/3/feature/su\_block

```
{
  "state": 0,
}
```

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## /agents/{id}/tools

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、要求されたエージェント・ツールが含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現在のユーザーには権限がありません
404	指定された {id} のエージェントが見つかりませんでした。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの `agent_tool` オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/agents/1/tools

Response: 200 OK

```
[
  {
    "tool_id": 1,
    "purpose": "BACKUP",
    "key": {
      "id": 3,
      "name": "Normal",
      "autogen": false,
      "scope": "User",
      "notes": "The key used for general encryption",
      "versions": [
        {
          "id": 3,
          "version": 1,
          "current": true,
          "timestamp": 1523371339398
        }
      ]
    },
    "active": true,
    "type": "agent_tool"
  },
  {
    "tool_id": 2,
    "purpose": "RESTORE",
    "key": {
      "id": 3,
      "name": "Normal",
      "autogen": false,
      "scope": "User",
      "notes": "The key used for general encryption",
      "versions": [
        {
          "id": 3,
          "version": 1,
          "current": true,
          "timestamp": 1523371339398
        }
      ]
    },
    "active": true,
    "type": "agent_tool"
  },
  {
    "tool_id": 3,
    "purpose": "OBJSTORE",
    "key": {
      "id": 3,
      "name": "Normal",
      "autogen": false,
      "scope": "User",
      "notes": "The key used for general encryption",
      "versions": [
        {
          "id": 3,
          "version": 1,
          "current": true,
          "timestamp": 1523371339398
        }
      ]
    },
    "active": true,
    "type": "agent_tool"
  }
]
```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
--------	----

<なし>	
------	--

## 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	エージェントは非同期ジョブで作成されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行エージェントは新規ユーザーを作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規エージェントが既存エージェントと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent\_tool* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: POST /rest/agents/1/tools

```
{
  "tool_id": 1,
  "purpose": "BACKUP",
  "key": "toolKeyB",
  "active": true,
  "type": "agent_tool"
}
```

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## [/agents/{id}/tools/{tool\\_id}](/agents/{id}/tools/{tool_id})

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
-----	----

<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・ツールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーには権限がありません
<b>404</b>	指定された {id} と {tool_id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent\_tool* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/agents/1/tools/1

Response: 200 OK

```
{
  "tool_id": 1,
  "purpose": "BACKUP",
  "key": {
    "id": 3,
    "name": "Normal",
    "autogen": false,
    "scope": "User",
    "notes": "The key used for general encryption",
    "versions": [
      {
        "id": 3,
        "version": 1,
        "current": true,
        "timestamp": 1523371339398
      }
    ]
  },
  "active": true,
  "type": "agent_tool"
}
```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	機能は非同期ジョブで更新されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。



<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーにはエージェント・ツールを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} と {tool_id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent\_tool* オブジェクトを参照してください。

## 例

```
Request: PUT /rest/agents/86/object_store
{
  {
    "id": 11,
    "mofn": "2:3",
    "certificate": {
      "id": 45,
      "agent_id": 90,
      "subject": "CN=192.168.1.26",
      "fingerprint":
"432663eaf2ae18e44be41a9185f1b7cd7e902cdbdc7006b884a2ec678fcedb9b",
      "expiry": 1606341305000,
      "has_privkey": true,
      "state": "ACTIVE",
      "notes": "",
      "type": "agent-certificate"
    },
    "backends": [
      {
        "id": 25,
        "url": "https://s3.us-south.objectstorage.softlayer.net",
        "key_id": "owerjl78937jkjkj8888",
        "api_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "share": 1,
        "type": "object-store-backend"
      },
      {
        "id": 26,
        "url": "https://s3.us-south.objectstorage.softlayer.net",
        "key_id": "78937jkjkj9owerjl999",
        "api_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "share": 2,
        "type": "object-store-backend"
      },
      {
        "id": 27,
        "url": "https://s3.us-south.objectstorage.softlayer.net",
        "key_id": "7jkjkj9ower7893jl999",
        "api_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "share": 3,
        "type": "object-store-backend"
      }
    ],
    "credentials": [
      {
        "id": 17,
```

```

        "key_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
        "access_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "type": "object-store-credential"
      },
      {
        "id": 18,
        "key_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
        "access_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "type": "object-store-credential"
      }
    ],
    "buckets": [
      {
        "id": 17,
        "name": "bucket1",
        "log_denial": false,
        "policy": [
          {
            "id": 33,
            "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
            "access": "RO",
            "log": false,
            "type": "object-store-bucket-policy"
          },
          {
            "id": 34,
            "cred_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
            "access": "RW",
            "log": true,
            "type": "object-store-bucket-policy"
          }
        ],
        "type": "object-store-bucket"
      },
      {
        "id": 18,
        "name": "bucket2",
        "log_denial": false,
        "policy": [
          {
            "id": 35,
            "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
            "access": "RW",
            "log": true,
            "type": "object-store-bucket-policy"
          },
          {
            "id": 36,
            "cred_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
            "access": "WO",
            "log": false,
            "type": "object-store-bucket-policy"
          }
        ],
        "type": "object-store-bucket"
      }
    ],
    "source": 0,
    "snapshot": false,
    "snapshotIndex": 0,
    "type": "object-store"
  }
}

```

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	機能は非同期ジョブで更新されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはポリシー・バインディングを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} と {tool_id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent\_tool* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: PATCH /rest/agents/1/tools/1

```
{
  "key": "toolKeyB"
}
```

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	削除を処理するためにジョブが作成されました。ジョブの URL については、 <b>Location</b> ヘッダーを参照してください。
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} と {tool_id} のユーザーは見つからず、以前にも存在していません

<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

-

## 例

Request: DELETE /rest/agents/1/tools/1

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## /agents/{id}/object\_store

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・ツールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーには権限がありません
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

オブジェクト・ストア・オブジェクトのエージェント・コレクション・スキーマを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/agents/1/object\_store

Response: 200 OK

```

{
  "id": 9,
  "mofo": "2:3",
  "certificate": {
    "id": 42,
    "agent_id": 86,
    "subject": "CN=192.168.1.27",
    "fingerprint":
"24d2327171ce69c5080081579f2be4ddc3fc19ca988b8030c430460df17a931b",
    "expiry": 1606341293000,
    "has_privkey": false,
    "state": "ACTIVE",
    "notes": "",
    "type": "agent-certificate"
  },
  "backends": [
    {
      "id": 19,
      "url":
"https://s3.us-south.objectstorage.softlayer.net",
      "key_id": "owerjl78937jkjkj8888",
      "api_key": null,
      "auth_type": "S3-IBM4",
      "share": 1,
      "type": "object-store-backend"
    },
    {
      "id": 20,
      "url":
"https://s3.us-south.objectstorage.softlayer.net",
      "key_id": "78937jkjkj9owerjl999",
      "api_key": null,
      "auth_type": "S3-IBM4",
      "share": 2,
      "type": "object-store-backend"
    },
    {
      "id": 21,
      "url":
"https://s3.us-south.objectstorage.softlayer.net",
      "key_id": "7jkjkj9ower7893jl999",
      "api_key": null,
      "auth_type": "S3-IBM4",
      "share": 3,
      "type": "object-store-backend"
    }
  ],
  "credentials": [
    {
      "id": 13,
      "key_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
      "access_key": null,
      "auth_type": "S3-IBM4",
      "type": "object-store-credential"
    },
    {
      "id": 14,
      "key_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
      "access_key": null,
      "auth_type": "S3-IBM4",
      "type": "object-store-credential"
    }
  ],
  "buckets": [
    {
      "id": 13,
      "name": "bucket1",
      "log_denial": true,
      "policy": [
        {
          "id": 25,
          "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
          "access": "RO",
          "log": false,
          "type": "object-store-bucket-policy"
        },
        {
          "id": 26,
          "cred_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
          "access": "RW",
          "log": true,
          "type": "object-store-bucket-policy"
        }
      ]
    }
  ]
}

```

```

    },
    ],
    "type": "object-store-bucket"
  },
  {
    "id": 14,
    "name": "bucket2",
    "log_denial": false,
    "policy": [
      {
        "id": 27,
        "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
        "access": "RW",
        "log": true,
        "type": "object-store-bucket-policy"
      },
      {
        "id": 28,
        "cred_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
        "access": "WO",
        "log": false,
        "type": "object-store-bucket-policy"
      }
    ]
  },
  ],
  "type": "object-store-bucket"
},
{
  "source": 0,
  "snapshot": false,
  "snapshotIndex": 0,
  "type": "object-store"
}
}

```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・ツールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーには権限がありません
<b>404</b>	指定された{id}のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

オブジェクト・ストア・オブジェクトのエージェント・コレクション・スキーマを参照してください。

## 例

```
Request: PUT /rest/agents/86/object_store
{
  {
    "id": 11,
    "mofn": "2:3",
    "certificate": {
      "id": 45,
      "agent_id": 90,
      "subject": "CN=192.168.1.26",
      "fingerprint":
"432663eaf2ae18e44be41a9185f1b7cd7e902cdbdc7006b884a2ec678fcedb9b",
      "expiry": 1606341305000,
      "has_privkey": true,
      "state": "ACTIVE",
      "notes": "",
      "type": "agent-certificate"
    },
    "backends": [
      {
        "id": 25,
        "url": "https://s3.us-south.objectstorage.softlayer.net",
        "key_id": "owerjl78937jkjkj8888",
        "api_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "share": 1,
        "type": "object-store-backend"
      },
      {
        "id": 26,
        "url": "https://s3.us-south.objectstorage.softlayer.net",
        "key_id": "78937jkjkj9owerjl999",
        "api_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "share": 2,
        "type": "object-store-backend"
      },
      {
        "id": 27,
        "url": "https://s3.us-south.objectstorage.softlayer.net",
        "key_id": "7jkjkj9ower7893jl999",
        "api_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "share": 3,
        "type": "object-store-backend"
      }
    ],
    "credentials": [
      {
        "id": 17,
        "key_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
        "access_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "type": "object-store-credential"
      },
      {
        "id": 18,
        "key_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
        "access_key": null,
        "auth_type": "S3_IBM4",
        "type": "object-store-credential"
      }
    ],
    "buckets": [
      {
        "id": 17,
        "name": "bucket1",
        "log_denial": false,
        "policy": [
          {
            "id": 33,
            "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
            "access": "R0",
            "log": false,
            "type": "object-store-bucket-policy"
          },
          {
            "id": 34,
            "cred_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
            "access": "RW",

```

```

        "log": true,
        "type": "object-store-bucket-policy"
      },
    ],
    "type": "object-store-bucket"
  },
  {
    "id": 18,
    "name": "bucket2",
    "log_denial": false,
    "policy": [
      {
        "id": 35,
        "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
        "access": "RW",
        "log": true,
        "type": "object-store-bucket-policy"
      },
      {
        "id": 36,
        "cred_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
        "access": "WO",
        "log": false,
        "type": "object-store-bucket-policy"
      }
    ],
    "type": "object-store-bucket"
  },
  {
    "source": 0,
    "snapshot": false,
    "snapshotIndex": 0,
    "type": "object-store"
  }
]
}

```

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	機能は非同期ジョブで更新されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはポリシー・バインディングを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。



<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
------------	---

## スキーマ

オブジェクト・ストア・オブジェクトのエージェント・コレクション・スキーマを参照してください。

## 例

Request: PATCH /rest/agents/1/object\_store

```
{
  "id": 11,
  "credentials": [{
    "id": 17,
    "key_id": "244Q75QUHMTRYUCN4QT7"
  }],
  "type": "object-store"
}
```

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## /agents/{id}/object\_store/credentials

POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・ツールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

*object\_store* オブジェクトの下にある *credentials* オブジェクトのエージェント・コレクション・スキーマを参照してください。

## 例

Request: POST /rest/agents/1/object\_store/credentials

```
{
  "key_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
```

```
"access_key": "hdc1Im0t2kQ7xxchmRkGxZyuGfG10notActualKey",
"auth_type": "S3_IBM4"
}
```

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	機能は非同期ジョブで更新されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーにはエージェント・ツールを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} と {cid} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

`object_store` の下にあるエージェント・コレクション・スキーマの `credentials` オブジェクトを参照してください。

### 例

Request: DELETE /rest/agents/86/object\_store/credentials/<cid>

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## /agents/{id}/object\_store/buckets

### GET

#### GET 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・ツールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} およびオブジェクト・ストアとバケットを持つエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマのオブジェクト・ストア・エージェント・オブジェクトと *buckets* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/agents/1/object\_store/buckets

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": 17,
    "name": "bucket1",
    "log_denial": true,
    "policy": [
      {
        "id": 33,
        "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
        "access": "R0",
        "log": false,
        "type": "object-store-bucket-policy"
      },
      {
        "id": 34,
        "cred_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
        "access": "RW",
        "log": true,
        "type": "object-store-bucket-policy"
      }
    ],
    "type": "object-store-bucket"
  },
  {
    "id": 18,
    "name": "bucket2",
    "log_denial": false,
    "policy": [
      {
        "id": 35,
        "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
        "access": "RW",
        "log": true,
        "type": "object-store-bucket-policy"
      },
      {
        "id": 36,
        "cred_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
        "access": "W0",
        "log": false,
        "type": "object-store-bucket-policy"
      }
    ],
    "type": "object-store-bucket"
  }
]
```

```
] }
```

## POST 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・ツールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} とオブジェクト・ストアを持つエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

*object\_store* オブジェクトの下にある *buckets* オブジェクトのエージェント・コレクション・スキーマを参照してください。

## 例

Request: POST /rest/agents/1/object\_store/buckets

```
{
  "name": "bucket12",
  "log_denial": true,
  "policy": [
    {
      "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
      "access": "R0",
      "log": false,
      "type": "object-store-bucket-policy"
    },
    {
      "cred_id": "411QJK9Y5450MWALTKY5",
      "access": "RW",
      "log": true,
      "type": "object-store-bucket-policy"
    }
  ],
  "type": "object-store-bucket"
}
```

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## DELETE 照会パラメーター

パラメーター	記述
--------	----

<なし>	
------	--

#### 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	機能は非同期ジョブで更新されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーにはエージェント・ツールを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} および/または {bucket id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

`object_store` オブジェクトの下にある `buckets` オブジェクトのエージェント・コレクション・スキーマを参照してください。

#### 例

Request: DELETE /rest/agents/86/object\_store/buckets/<bid>

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## [/agents/{id}/object\\_store/buckets/<bid>/policy](#)

### POST

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント・ツールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。

<b>404</b>	指定された {id} および/または {bucket_id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

*buckets* オブジェクトと *object\_store* オブジェクトの下にある *policy* オブジェクトのエージェント・コレクション・スキーマを参照してください。

## 例

Request: POST /rest/agents/1/object\_store/buckets/<bid>/policy

```
{
  "cred_id": "344Q75QUHMTRYUCN4QT7",
  "access": "R0",
  "log": false,
  "type": "object-store-bucket-policy"
}
```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	機能は非同期ジョブで更新されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現在のユーザーにはエージェント・ツールを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} および/または {bucket_id} および/または {policy_id} のエージェントが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

*buckets* オブジェクトと *object\_store* オブジェクトの下にある *policy* オブジェクトのエージェント・コレクション・スキーマを参照してください。

#### 例

Request: DELETE /rest/agents/86/object\_store/buckets/<bid>/policy/<pid>

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/schedulers/9

## /agents/{id}/policy/<pid>

特定の管理対象エージェントの既知の証明書

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたエージェント証明書が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のエージェントが見つからず、かつ以前にも存在していません。証明書フィールドは、フィールドが空の場合でも現存のエージェントに対して常に存在します。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent-certificate* オブジェクトを参照してください。

#### 例

Request: GET /rest/agents/4/certificates

Response: 200 OK

```
[
  {
    "subject": "CN=localhost,OU=Development,O=Test.,L=Test,ST=CA,C=US",
    "fingerprint": "a15b027baaa1182b32e160dff4955bb2064d2d0b",
    "expiry": 1478733066000,
    "id": 6,
    "type": "agent-certificate"
  }
]
```

## POST 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	証明書が作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規証明書の URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは証明書を作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規証明書が既存証明書と競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

エージェント・コレクション・スキーマの *agent-certificate* オブジェクトを参照してください。変更: *id* は必須ではなく、設定もしないでください。

## 例

Request: POST /rest/agents/4/certificates

```
{
  "id": 4,
  "type": "client-file",
  "href": "/rest/files/upload/4"
  "notes": "After expiration, contact person@example.com for a new one"
}
```

Response: 201 Created | Location: /rest/agents/4/certificates/7



# 第9章 ユーザー・アカウント

## /users

すべてのサーバー・レベル・ユーザー

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、すべての既知のユーザーが含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 1,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "username",
"password", "password_confirm", "state", "roles", "properties"],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "user" ] },
        "username": "number",
        "password": "string",
        "password_confirm": "string",
        "state": { "enum": [ "enabled",
"disabled", "expired", "locked" ] },
        "roles": {
          "type": "array",
          "minItems": 0,
          "uniqueItems": true,
          "items": [
            { "type": "string" }
          ]
        },
        "properties": {
          "type": "object",
          "required": [ "notes", "passwordLastModified"],
          "additionalProperties": true,
          "properties": {
```

```

    "notes": "string",
    "passwordLastModified": "number",
  }
}
}
]
}

```

### 例

```

Request: GET /rest/users
Response: 200 OK
[
  {
    "type": "user",
    "username": "admin",
    "password": null,
    "password_confirm": null,
    "state": "enabled",
    "roles": ["product-administrator", "admin"],
    "properties": {
      "notes": "Paul's user account",
      "passwordLastModified": 1460911763077
    }
  }
]

```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	ユーザーが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規ユーザーの URL が示されます。
<b>202</b>	ユーザーは非同期ジョブで作成されます。 <b>Location</b> ヘッダーに状況をチェックするためのジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは新規ユーザーを作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規ユーザーが既存ユーザーと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

ユーザー・コレクション・スキーマの *user* オブジェクトを参照してください。変更: *properties.passwordLastModified* は設定しないでください。

### 例

Request: POST /rest/users

```
{
  "type": "user",
  "username": "admin-joe2",
  "password": "MyPassword12345",
  "password_confirm": "MyPassword12345",
  "state": "enabled",
  "roles": ["policy-server-administrator"],
  "properties": {
    "notes": "By management request, a second user account for Joe.",
  }
}
```

Response: 202 Accepted | Location: /jobs/67

## /users/{username}

特定のサーバー・ユーザー

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたユーザーが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {username} のユーザーが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

ユーザー・コレクション・スキーマの *user* オブジェクトを参照してください。

### 例

Request: GET /rest/users/admin

Response: 200 OK

```
{
  "type": "user",
  "username": "admin",
  "password": null,
  "password_confirm": null,
  "state": "enabled",
  "roles": ["policy-server-administrator", "admin"],
  "properties": {
    "notes": "",
    "passwordLastModified": 1460911763077
  }
}
```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	削除を処理するためにジョブが作成されました。ジョブの URL については、 <b>Location</b> ヘッダーを参照してください。
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {username} のユーザーが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

### 例

Request: DELETE /rest/users/admin

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/5

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
<b>202</b>	変更を処理するためにジョブが作成されました。ジョブの URL については、 <b>Location</b> ヘッダーを参照してください。
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはユーザーを変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {username} のユーザーが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	ユーザーに対する変更が別のユーザーと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

ユーザー・コレクション・スキーマの *user* オブジェクトを参照してください。変更: *type* および *username* のみが必須フィールドです。

## 例

```
Request: PATCH /rest/users/admin

{
  "properties": {
    "notes": "updated notes for Paul",
  },
  "type": "user"
}

Response: 205 Reset Content
```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

## 状況コード

コード	記述
-----	----

202	変更を処理するためにジョブが作成されました。ジョブの URL については、 <b>Location</b> ヘッダーを参照してください。
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはユーザーを変更する権限がありません。
404	指定された {username} のユーザーが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
409	ユーザーに対する変更が別のユーザーと競合しています。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

ユーザー・コレクション・スキーマの *user* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: PUT /rest/users/admin

```
{
  "type": "user",
  "username": "admin",
  "password": null,
  "password_confirm": null,
  "state": "disabled",
  "roles": ["product-administrator", "admin"],
  "properties": {
    "notes": " Disabled 2016-04-15 due to temporary reassignment.",
    "passwordLastModified": 1460911763077
  }
}
```

Response: 205 Reset Content

## /roles

すべてのサーバー・ユーザー・ロール

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
--------	----

<なし>	
------	--

## 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、すべての既知のロールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 2,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "permissions" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "rbac-role" ] },
        "id": "string",
        "permissions": {
          "type": "array",
          "minItems": 1,
          "uniqueItems": true,
          "items": [
            {
              "type": "object",
              "required": [ "type", "id", "actions" ],
              "additionalProperties": false,
              "properties": {
                "type": { "enum": [ "rbac-permission" ] },
                "id": "string",
                "actions": {
                  "type": "array",
                  "minItems": 1,
                  "uniqueItems": true,
                  "items": [
                    { "type": "string" }
                  ]
                }
              }
            }
          ]
        }
      }
    }
  ]
}
```

## 例

Request: GET /rest/roles

Response: 200 OK

```
[
  {
    "type": "rbac-role",
    "id": "product-administrator",
    "permissions": [
```

```

    {
      "id": "see-keystore-settings",
      "actions": [
        "see-keystore-settings"
      ],
      "type": "rbac-permission"
    },
    {
      "id": "see-licenses",
      "actions": [
        "see-licenses"
      ],
      "type": "rbac-permission"
    }
  ]
}
]

```

## /roles/{id}

特定のサーバー・ユーザー・ロール

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたロールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のロールが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

ロール・コレクション・スキーマの *rbac-role* オブジェクトを参照してください。

#### 例

Request: GET /rest/roles/product-administrator

Response: 200 OK

```

{
  "type": "rbac-role",
  "id": "product-administrator",
  "permissions": [
    {
      "id": "see-keystore-settings",

```



```

        "actions": [
            "see-keystore-settings"
        ],
        "type": "rbac-permission"
    },
    {
        "id": "see-licenses",
        "actions": [
            "see-licenses"
        ],
        "type": "rbac-permission"
    }
]
}

```

## /sessions

すべてのサーバー・ユーザー・セッション

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、すべてのアクティブなユーザー・セッションが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```

{
  "type": "array",
  "minItems": 1,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id",
        "user", "roles", "activated_permissions", "when_started"],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "web-session" ] },
        "id": "string",
        "user": "string",
        "when_started": "number",
        "roles": {
          "type": "array",
          "minItems": 0,
          "uniqueItems": true,
          "items": [

```

```
        { "type": "string" }
      ]
    }
    "activated_permissions": {
      "type": "array",
      "minItems": 0,
      "uniqueItems": true,
      "items": [
        { "type": "string" }
      ]
    }
  }
}
]
```

例

```
Request: GET /rest/sessions
Response: 200 OK
[
  {
    "type": "web-session",
    "id": "1d3eldnegio001ksj59gedjln5",
    "user": "admin",
    "when_started": 1460911832224,
    "roles": [
      "admin",
      "product-administrator"
    ],
    "activated_permissions": [
      "add-product-administrator-role",
      "approve-agents",
      "change-agents",
      "change-own-user"
    ]
  }
]
```

注釈

現時点では、現在認証されているユーザー・セッションのみ公開されます。

POST

このリソースに対する要求メソッドを使用して新規 HTTP セッションを認証および開始します。

•

サポートされるコンテンツ・タイプ

コンテンツ・タイプ	記述
<b>application/x-www-form-urlencoded</b>	最初のリリースで、フォーム認証とプログラム認証の両方に使用されています。

状況コード

コード	記述
<b>201</b>	セッションが開始されました。現行のセッション・リソース URL は応答の Location ヘッダーに示されます。
<b>401</b>	資格情報が無効であるか、本文の形式が正しくないか、またはその他の問題があり、悪意のあるアクティビティの対象となった場合に情報漏えいを低減するために意図的に難読化されています。

## スキーマ

```
{
  "type": "string",
  "description":
    "URL encoded parameter list of j_username,
    j_password, and optionally j_directory with
    values set to the username, password, and
    directory respectively"
}
```

## 例

Request: POST /rest/sessions

j\_username=admin&j\_password=MyPass12345

Response: 201 Created | Location: /rest/sessions/i1et8oc714vek1534fso3uw9

Request: POST /rest/sessions

j\_username=admin&j\_password=MyPass12345&j\_directory=IT\_LDAP

Response: 201 Created | Location: /rest/sessions/1a2ascg8qi7dr16pue3nvvv4dz

## 注釈

*POST* が受け入れられるためには、*CSRF* トークンが有効である必要があります。そのため、セッション・コレクションに対する *POST* で認証セッションを開始するには、*HTTP* セッションを (通常は別のリソースに対する *GET* で (/rest/session を選択すると特に役立ちます)) 開始する必要があります。

推奨されるフローは、/rest/sessions に対して *GET* を実行して応答コードを確認し、応答コードが *401* の場合にのみ /rest/sessions に対して *POST* を実行するというフローです。

## /sessions/{id}

特定のサーバー・セッション

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、要求されたセッションが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のセッションが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
------------	---

## スキーマ

セッション・コレクション・スキーマの *sessions* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/sessions/1d3e1dnegio001ksj59gedjln5

Response: 200 OK

```
{
  "type": "web-session",
  "id": "1d3e1dnegio001ksj59gedjln5",
  "user": "admin",
  "when_started": 1460911832224,
  "roles": [
    "admin",
    "product-administrator"
  ],
  "activated_permissions": [
    "add-product-administrator-role",
    "approve-agents",
    "change-agents",
    "change-own-user"
  ]
}
```

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。つまり、ターゲットであるセッションが有効でなくなりました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

## 例

Request: DELETE /rest/sessions/i1et8oc714vek1534fso3uw9

Response: 204 No content

# 第 10 章 サーバー設定

## /settings

すべての既知のログの収集

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に子設定リソースへの参照のコレクションが含まれます。参照には設定自体は含まれません。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": ["type", "id", "href"],
      "additionalProperties": true,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "ref" ] },
        "id": { "enum": [ "directories", "keystores" ] },
        "href": "string"
      }
    }
  ]
}
```

#### 例

```
Request: GET /settings

Response: 200 OK

[
  {
    "type": "ref",
```

```

    "id": "directories",
    "href": "/rest/settings/directories",
  },
  {
    "type": "ref",
    "id": "keystores",
    "href": "/rest/settings/keystores",
  }
]

```

## /settings/directories

サーバー LDAP ディレクトリー構成

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、製品の鍵ストア設定が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```

{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": ["type", "id", "host", "port", "binddn", "secure"],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "directory" ] },
        "id": "string",
        "host": "string",
        "port": "number",
        "binddn": "string",
        "directory_type": { "enum": [ "LDAP", "ACTIVE_DIRECTORY" ] },
        "secure": "boolean"
      }
    }
  ]
}

```

## 注釈

**directory\_type** が **ACTIVE\_DIRECTORY** に設定されている場合は、**binddn** フィールドが無視されます。混乱を防ぐため、この場合、呼び出し元では **binddn** を **null** または空の文字列に設定することをお勧めします。

## 例

Request: GET /rest/settings/directories

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": "human-resources",
    "host": "192.168.4.114",
    "port": 389,
    "host": "LDAP",
    "binddn": "uid={username},cn=humanresources,ou=Groups,dc=example,dc=com",
    "secure": false,
    "type": "directory"
  }
]
```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	新規ディレクトリーを作成するジョブが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規ジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはディレクトリーを作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規ディレクトリーが既存ディレクトリーの id と競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

ディレクトリー・コレクション・スキーマの *directory* オブジェクトを参照してください。**変更:** いずれのオブジェクト・タイプでも *id* は必須ではなく、設定もしないでください。

## 例

Request: POST /rest/settings/directories

```
{
  "id": "human-resources",
  "host": "192.168.4.114",
  "port": 389,
  "host": "LDAP",
  "binddn": "uid=${username},cn=humanresources,ou=Groups,dc=example,dc=com",
  "secure": false,
  "type": "directory"
}
```

Response: 201 Created | Location: /rest/jobs/1

## /settings/directories/{id}

特定のLDAPディレクトリー構成

## GET

### 照会パラメーター

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、特定のインターフェースのディレクトリー設定が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

ディレクトリー設定コレクション・スキーマの *directory* オブジェクトを参照してください。

## 例

Request: GET /rest/settings/directory/human-resources

Response: 200 OK

```
{
  "id": "human-resources",
  "host": "192.168.4.114",
  "port": 389,
  "host": "LDAP",
  "binddn": "uid=${username},cn=humanresources,ou=Groups,dc=example,dc=com",
  "secure": false,
  "type": "directory"
}
```



## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	削除は正常に終了しました。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
404	指定された {id} のディレクトリーが見つからず、かつ以前にも存在していません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

DELETE では本文は送信されません。

### 例

Request: DELETE /rest/settings/directories/human-resources

Response: 204 No content

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
204	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
205	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
400	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーはプロセス・セットを変更する権限がありません。

<b>404</b>	指定された {id} のディレクトリーが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	ディレクトリーに対する変更が別のディレクトリーと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

ディレクトリー・コレクション・スキーマの *directory* オブジェクトを参照してください。

## 例

```
Request: PUT /rest/settings/directories/tenant1

{
  "id": "human-resources",
  "host": "192.168.2.134",
  "port": 389,
  "host": "LDAP",
  "binddn": "uid={username},cn=humanresources,ou=Groups,dc=example,dc=com",
  "secure": false,
  "type": "directory"
}

Response: 205 Reset content
```

## /settings/keystores

サーバー鍵ストア構成

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、製品の鍵ストア設定が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

```

{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "state", "name",
"product", "host", "port", "keystore", "keystore_alias",
"truststore", "truststore_alias", "truststore_password", "master_keystore_id" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "keystore-kmip", "keystore-hsm" ] },
        "id": "number",
        "name": "string",
        "state": { "enum": [ "ACTIVE", "INACTIVE" ] },
        "product": { "enum": [ "IBM_SKLM", "HSM" ] },
        "host": "string",
        "port": "number",
        "keystore": {
          "type": "object",
          "required": [ "type", "id", "name", "href" ],
          "additionalProperties": false,
          "properties": {
            "type": { "enum": [ "ref" ] },
            "id": "number",
            "name": "string",
            "href": "string"
          }
        },
        "keystore_alias": "string",
        "keystore_password": "string",
        "truststore": {
          "type": "object",
          "required": [ "type", "id", "name", "href" ],
          "additionalProperties": false,
          "properties": {
            "type": { "enum": [ "ref" ] },
            "id": "number",
            "name": "string",
            "href": "string"
          }
        },
        "truststore_alias": "string",
        "truststore_password": "string",
        "hsm_password": "string",
        "hsm_token": "string",
        "key_handle": "string",
        "master_keystore_id": "number"
      }
    }
  ]
}

```

## 例

Request: GET /rest/settings/keystores

Response: 200 OK

```

[
  {
    "id": 1,
    "name": "builtin",
    "state": "INACTIVE",
    "product": "IBM_SKLM",
    "host": null,
    "port": 0,
    "keystore": null,
    "keystore_alias": null,
    "keystore_password": "*****",
    "truststore": null,
    "truststore_alias": null,
    "truststore_password": "*****",
  }
]

```

```

    "master_keystore_id": 0,
    "type": "keystore-kmip"
  }
  {
    id": 1,
    "name": "hsm",
    "state": "INACTIVE",
    "product": "HSM ",
    "hsm_password": null,
    "hsm_token": "0",
    "key_handle": "441",
    "master_keystore_id": 0,
    "type": "keystore-hsm"
  }
]

```

## POST

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	新規鍵ストアを作成するジョブが作成されました。 <b>Location</b> ヘッダーに新規ジョブの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはディレクトリーを作成する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	新規ディレクトリーが既存ディレクトリーの id と競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

鍵ストア・コレクション・スキーマの *keystore* オブジェクトを参照してください。変更: *id* は必須ではなく、設定もしないでください。

### 例

```

KMIP Keystores:
Request: POST /rest/settings/keystores

{
  "name": "standby",
  "state": "INACTIVE",
  "product": "IBM_SKLM",
  "host": "192.168.4.133",

```

```
"port": 5696,
"keystore": {
  "name": "sklm-client-keystore.jks",
  "id": 42,
  "type": "ref",
  "href": "/rest/files/upload/42"
},
"keystore_alias": "sklmclient",
"keystore_password": "keystorePa55word123",
"truststore": {
  "name": "sklm-truststore.jks",
  "id": 43,
  "type": "ref",
  "href": "/rest/files/upload/43"
},
"keystore_alias": "sklmserver",
"keystore_password": "trustp@ss123",
"master_keystore_id": 1,
"type": "keystore-kmip"
}
```

Response: 202 Accepted | Location: /rest/jobs/112

HSM keystores:

Request: POST /rest/settings/keystores

```
{
  "name": "hsm",
  "state": "INACTIVE",
  "product": "HSM",
  "hsm_password": null,
  "hsm_token": "0",
  "keystore_handle": "441",
  "master_keystore_id": 0,
  "type": "keystore-hsm"
}
```

Response: 202 Accepted | Location /rest/jobs/112

## /settings/keystores/{id}

特定の鍵ストア構成

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、特定のインターフェースの鍵ストア設定が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

鍵ストア設定コレクション・スキーマの *keystore* オブジェクトを参照してください。

### 例

```
Request: GET /rest/settings/keystores/1
KMIP Keystores:
Response: 200 OK
```

```
{
  "id": 1,
  "name": null,
  "state": "INACTIVE",
  "product": "IBM_SKLM",
  "host": null,
  "port": 0,
  "keystore": null,
  "keystore_alias": null,
  "keystore_password": "*****",
  "truststore": null,
  "truststore_alias": null,
  "truststore_password": "*****",
  "master_keystore_id": 0,
  "type": "keystore-kmip"
}
```

```
HSM Keystores:
Request: GET /rest/settings/keystores/1
```

```
{
  "id": 1,
  "name": "hsm",
  "state": "INACTIVE",
  "product": "HSM",
  "hsm_password": null,
  "hsm_token": "0",
  "key_handle": "448",
  "master_keystore_id": 0,
  "type": "keystore-hsm"
}
```

## PUT

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは鍵ストア設定を変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のインターフェースが見つからず、かつ以前にも存在していません。

<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	インターフェースに対する変更が別のインターフェースと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

鍵ストア設定コレクション・スキーマの *keystore* オブジェクトを参照してください。

## 例

KMIP Keystores:  
Request: PUT /rest/settings/keystores/1

```
{
  "id": 1,
  "name": null,
  "state": "INACTIVE",
  "product": "IBM_SKLM",
  "host": "192.168.2.87",
  "port": 5696,
  "keystore": null,
  "keystore_alias": null,
  "keystore_password": "*****",
  "truststore": null,
  "truststore_alias": null,
  "truststore_password": "*****",
  "master_keystore_id": 0,
  "type": "keystore-kmip"
}
```

Response: 205 Reset Content

HSM Keystores:  
Request: PUT /rest/settings/keystores/1

```
{
  "id": 1,
  "name": "hsm",
  "state": "INACTIVE",
  "product": "HSM",
  "hsm_password": null,
  "hsm_token": "0",
  "key_handle": "448",
  "master_keystore_id": 0,
  "type": "keystore-hsm"
}
```

Response: 205 Reset Content

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
-----	----

<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは鍵ストア設定を変更する権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のインターフェースが見つからず、かつ以前にも存在していません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>409</b>	インターフェースに対する変更が別のインターフェースと競合しています。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

鍵ストア設定コレクション・スキーマの *keystore* オブジェクトを参照してください。

## 例

```

KMIP Keystores:
Request: PATCH /rest/settings/keystores/1
{

  {
    "id": 1,
    "state": "INACTIVE",
    "type": "keystore-kmip"
  }

Response: 205 Reset Content

HSM Keystores:
Request: PATCH /rest/settings/keystores/1
{

  {
    "id": 1,
    "state": "INACTIVE",
    "type": "keystore-hsm"
  }

Response: 205 Reset Content

```

## DELETE

### スキーマ

*DELETE* では本文は送信されません。



## 例

```
KMIP or HSM Keystores:  
Request: DELETE /rest/settings/keystores/1  
Response: 204 No content
```



# 第 11 章 ファイルのアーカイブとアップロード

## /files

サーバーで生成されたアーカイブ (今後のリリース) およびカスタマー・アップロード・ファイルの収集

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に子ファイルまたは子ファイル・コレクションへの参照のコレクションが含まれます。参照にはファイル・コンテンツは含まれません。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 4,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": ["type", "id", "href"],
      "additionalProperties": true,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "ref" ] },
        "id": { "enum": [ "upload" ] },
        "href": "string"
      }
    }
  ]
}
```

#### 例

Request: GET /rest/files

Response: 200 OK

[

```
{
  "type": "ref",
  "id": "upload",
  "href": "/rest/files/upload",
}
```

## /files/upload

クライアントが他のリソースで使用するためにファイルをアップロードする場所。

このリソースでは所有権の表示が適用されるため、ユーザーがアップロードしたファイルのみがそのユーザーに表示されます。要求でファイルが別のリソースに渡されると、そのファイルはサーバーによって削除される可能性があります。通常、ファイルの手動削除は必要ありません。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文にカスタマー・アップロード・ファイルへの参照のコレクションが含まれます。参照にはファイル・コンテンツは含まれません。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "name", "id", "href" ],
      "additionalProperties": true,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "ref" ] },
        "type": "string",
        "id": "number",
        "href": "string"
      }
    }
  ]
}
```

## 例

```
Request: GET /rest/files/upload
Response: 200 OK

[
  {
    "name": "cert.pem",
    "id": 1,
    "type": "ref",
    "href": "/rest/files/upload/1"
  }
]
```

## POST

サーバーへの新規ファイルのアップロード

•

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>201</b>	新規ファイルがアップロードされました。 <b>Location</b> ヘッダーにファイルの URL が示されます。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーはファイルをアップロードする 権限がありません。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

この *POST* ではコンテンツを送信しないでください。

## 例

```
Request: POST /rest/files/upload
Response: 201 Created | Location: /files/upload/my_saved_backup_2015-10-15.tar.gz
```

## [/files/upload/{id}](#)

特定のクライアント・アップロード・ファイル

## GET

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文はファイルのバイナリー・ダウンロードになります。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のアップロードが見つかりませんでした。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーを設定解除したままにするか、サポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

カスタマー・アップロードはバイナリー・データとみなされ、スキーマはありません。

## DELETE

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	削除は正常に終了しました。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>404</b>	指定された {id} のアップロードが見つかりませんでした。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

*DELETE* では本文は送信されません。

## 例

```
Request: DELETE /rest/files/upload/my_saved_backup_2015-10-15.tar.gz
```

```
Response: 204 No Content
```





# 第 12 章 拡張プロパティ

## /properties

拡張製品プロパティを構成するためのリソース

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
200	応答本文に、プロパティの要約が含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "key",
"scope", "value", "defaultValue", "needsRestart" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "property" ] },
        "key": "string",
        "scope": { "enum": [ "LOCAL", "CLUSTER" ] },
        "value": "string",
        "defaultValue": "string",
        "needsRestart": "string"
      }
    }
  ]
}
```

#### 例

Request: GET /rest/properties  
Response: 200 OK

```
[
  {
    "key": "com.securityfirstcorp.atlantis.bundles.dataman.password",
    "alias": "node.db.password",
    "scope": "LOCAL",
    "value": "PASSWORD",
    "defaultValue": "PASSWORD",
    "needsRestart": false,
    "type": "property"
  },
  {
    "key": "com.securityfirstcorp.atlantis.bundles.dataman.initialConnections",
    "alias": "node.db.initConns",
    "scope": "LOCAL",
    "value": "1",
    "defaultValue": "1",
    "needsRestart": false,
    "type": "property"
  }
]
```

## /properties/{key}

特定のプロパティ

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、特定のプロパティが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

プロパティ・スキーマの *property* オブジェクトを参照してください。

#### 例

Request: GET /rest/property/com.securityfirstcorp.atlantis.bundles.dataman.password

Response: 200 OK

```
{
  "key": "com.securityfirstcorp.atlantis.bundles.dataman.password",
  "alias": "node.db.password",
  "scope": "LOCAL",
  "value": "PASSWORD",
  "defaultValue": "PASSWORD",
  "needsRestart": false,
```

```
}    "type": "property"
```

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは時刻設定を変更する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

プロパティ・オブジェクト・スキーマを参照してください。

### 例

Request: PATCH /rest/property/com.securityfirstcorp.atlantis.bundles.dataman.password

```
{
  "value": "newPassword34"
}
```

Response: 205 Reset Content



# 第 13 章 セットアップと構成に関する問題

## セットアップと構成に関する問題

### /issues

製品セットアップに関する未解決の問題または構成に関する現在進行中の問題を解決するためのリソース

#### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、問題の要約が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id",
"issue_id", "dismiss_status", "importance", "permission_to_dismiss" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "issue" ] },
        "id": "number",
        "issue_id": "string",
        "dismiss_status": { "enum":
[ "DISMISSED", "NOT_ALLOWED", "NOT_DISMISSED", "UNKNOWN" ] },
        "importance": { "enum":
[ "HIGH", "MEDIUM", "LOW", "UNKNOWN" ] },
        "permission_to_dismiss": "boolean"
      }
    }
  ]
}
```

## 例

```
Request: GET /rest/properties

Response: 200 OK

[
  {
    "id": 1,
    "issue_id": "US_2_policyAndSecurityRoles",
    "dismiss_status": "NOT_DISMISSED",
    "importance": "LOW",
    "permission_to_dismiss": true,
    "type": "issue"
  },
  {
    "id": 2,
    "issue_id": "US_1_onlyOneUser",
    "dismiss_status": "NOT_ALLOWED",
    "importance": "HIGH",
    "permission_to_dismiss": true,
    "type": "issue"
  }
]
```

## /issues/{id}

特定のプロパティ

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、特定の問題が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

プロパティ・スキーマの *property* オブジェクトを参照してください。

## 例

```
Request: GET /rest/issues/1

Response: 200 OK

{
  "id": 1,
  "issue_id": "US_2_policyAndSecurityRoles",
  "dismiss_status": "NOT_DISMISSED",
  "importance": "LOW",
```

```
"permission_to_dismiss": true,  
"type": "issue"  
}
```

## PATCH

### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

### 状況コード

コード	記述
<b>204</b>	要求は正常に行われましたが、変更は含まれていませんでした。クライアント・サイドの表示を更新する必要はありません。
<b>205</b>	要求が正常に行われて、リソースが更新されました。
<b>400</b>	要求本文の形式が正しくありません。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは時刻設定を変更する権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

## スキーマ

問題オブジェクト・スキーマを参照してください。

### 例

Request: PATCH /rest/issues/1

```
{  
  "dismiss_status": "DISMISSED"  
}
```

Response: 205 Reset Content





# 第 14 章 グローバリゼーション・リソース

## /locales

製品のサポート対象ロケールをリストするためのリソース。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
200	応答本体にサポート対象のロケールが含まれます。
401	現行要求が認証されていません。
403	現行ユーザーは権限がありません。
406	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
500	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
503	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": true,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "type", "id", "display_name",
"language", "country", "default" ],
      "additionalProperties": false,
      "properties": {
        "type": { "enum": [ "product-locale" ] },
        "id": "string",
        "display_name": "string",
        "language": "string",
        "country": "string",
        "default": "boolean"
      }
    }
  ]
}
```

#### 例

Request: GET /rest/locales

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": "en_US",
    "display_name": "english (United States)",
    "language": "en",
    "country": "United States",
    "default": true,
    "type": "product-locale"
  },
  {
    "id": "es_MX",
    "display_name": "español (México)",
    "language": "es",
    "country": "Mexico",
    "default": false,
    "type": "product-locale"
  }
]
```

## /locales/{id}

特定のロケール

•

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<なし>	

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本文に、特定のロケールが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

### スキーマ

製品ロケール・スキーマの *product-locale* オブジェクトを参照してください。

### 例

```
Request: GET /rest/locales/en_US

Response: 200 OK

{
  "id": "en_US",
  "display_name": "english (United States)",
  "language": "en",
  "country": "United States",
  "default": true,
```

```
{
  "type": "product-locale"
}
```

## /strings

製品の文字列をリストするためのリソース。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<b>locale</b>	文字列が返される言語を示すロケール値。ロケールを指定しない場合、文字列はデフォルト言語で返されます。例: <b>locale=en_US</b>

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本体に製品の文字列が含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

```
{
  "type": "array",
  "minItems": 0,
  "uniqueItems": false,
  "items": [
    {
      "type": "object",
      "required": [ "id" ],
      "minItems": 0,
      "uniqueItems": true,
      "items": [
        { "type": "string" }
      ]
    }
  ]
}
```

#### 例

Request: GET /rest/strings

Response: 200 OK

```
[
  {
    "id": "web",
    "sLoadingRecords": "Loading...",
    "ButtonLabels_ExportCSV": "Export CSV",
    "Jobs_Status": "Status",
    "PageNames_Processes": "Processes",
```

```

    "US_1_ONLY_ONE_SECURITY_APPROVER_category": "User Setup"
  },
  {
    "id": "events",
    "PS00070003": "Backup data creation job {0} has started.",
    "PS00070002": "User {0} has deleted backup file {1}.",
    "PS00070005": "Backup data creation job {0} has failed.",
    "PS00070004": "Backup data creation job {0} has completed successfully."
  }
]

```

## /strings/{id}

特定の文字列セット。

### GET

#### 照会パラメーター

パラメーター	記述
<b>locale</b>	文字列が返される言語を示すロケール値。ロケールを指定しない場合、文字列はデフォルト言語で返されます。例: <b>locale=en_US</b>

#### 状況コード

コード	記述
<b>200</b>	応答本体に特定の文字列セットが含まれます。
<b>401</b>	現行要求が認証されていません。
<b>403</b>	現行ユーザーは権限がありません。
<b>406</b>	<b>Accept</b> ヘッダーをサポートされるコンテンツ・タイプに設定する必要があります。
<b>500</b>	内部エラーが発生しました。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。
<b>503</b>	サーバー・サービスが使用不可です。詳細については、 <b>Warning</b> ヘッダーを参照してください。

#### スキーマ

文字列スキーマを参照してください。

#### 例

Request: GET /rest/strings/web

Response: 200 OK

```

{
  "id": "web",
  "sLoadingRecords": "Loading...",
  "ButtonLabels_ExportCSV": "Export CSV",
  "Jobs_Status": "Status",
  "PageNames_Processes": "Processes",
  "US_1_ONLY_ONE_SECURITY_APPROVER_category": "User Setup"
}

```

## 特記事項

---

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒 103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町 19 番 21 号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス 渉外

**以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。**

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。

国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Director of Licensing*

*IBM Corporation*

*North Castle Drive, MD-NC119*

*Armonk, NY 10504-1785*

*US*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのものと同一である保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

表示されている IBM の価格は IBM が小売り価格として提示しているもので、現行価格であり、通知なしに変更されるものです。卸価格は、異なる場合があります。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. \_年を入れる\_.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

## 商標

IBM、IBM ロゴおよび ibm.com は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。



Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

## 製品資料に関するご使用条件

---

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

### 適用可能性

このご使用条件は、IBM Web サイトのすべてのご利用条件に追加して適用されます。

### 個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

### 商業的使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

### 権利

ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM は、これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態を提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

## プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

---

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品 (「ソフトウェア・オファリング」) では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。この「ソフトウェア・オファリング」は、Cookie もしくはその他のテクノロジーを使用して個人情報を収集することはありません。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』 (<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。









部品番号 CC0LUEN

GC43-5037-00



(1P) P/N: CC0LUEN

